

薬事・食品衛生審議会  
平成23年度第1回血液事業部会献血推進調査会  
議事次第

平成23年9月16日（金）14時～16時  
於：厚生労働省専用第21会議室（17階）

議 事

- 1 献血推進2014の進捗状況について
- 2 平成24年度献血推進計画案の策定について
- 3 平成23年度若年層献血意識調査について
- 4 その他

資 料

座席表

委員名簿

- |       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 資料1-1 | 献血者確保対策について（厚生労働省の取り組み）         |
| 資料1-2 | 献血者確保対策について（都道府県の取り組み）          |
| 資料1-3 | 献血者確保対策について（日本赤十字社の取り組み）        |
| 資料1-4 | 採血基準の見直しに伴う影響について               |
| 資料1-5 | 東日本大震災への対応について                  |
| 資料2   | 献血推進2014の達成目標の進捗状況について          |
| 資料3   | 平成23年度献血推進計画                    |
| 資料4   | 韓国における献血の現状について                 |
| 資料5   | 若年層献血者（10代）の献血継続状況分析について        |
| 資料6   | 高校献血減少の要因分析について                 |
| 資料7-1 | 2010年輸血業務・輸血製剤年間使用量に関する総合的調査報告書 |
| 資料7-2 | 医療機関における200ml赤血球製剤の需要と供給状況      |
| 資料8-1 | 平成20年度若年層献血意識調査結果概要             |
| 資料8-2 | 平成23年度若年層献血意識調査業務仕様書および調査票案     |
| 資料9   | けんけつちゃんの著作権について                 |

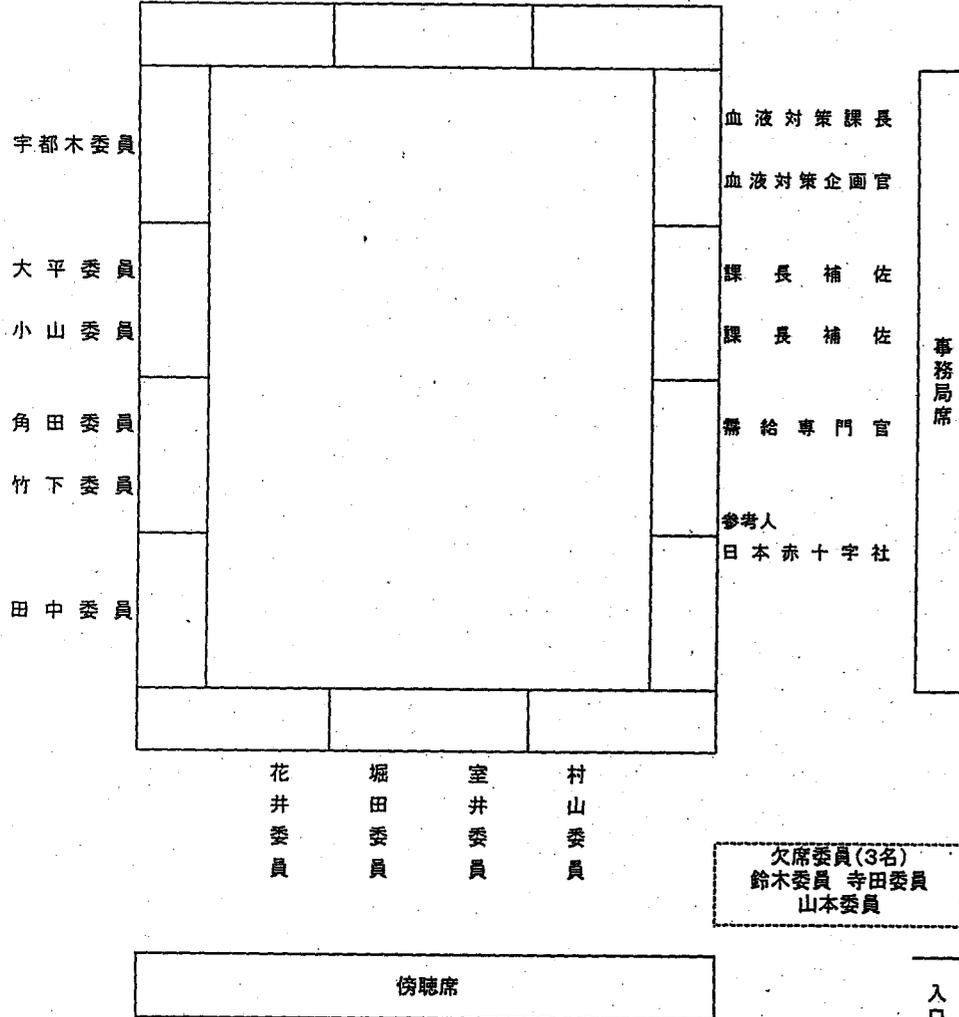
平成23年度第1回  
薬事・食品衛生審議会薬事分科  
血液事業部会献血推進調査会  
座席表

平成23年9月16日(金)  
専用第21会議室(17階)  
14:00~16:00

献血推進調査会 委員名簿

衛  
藤  
長  
委  
員

速記



氏名 ふりがな 現職

宇都木 伸	うつぎ しん	前東海大学専門職大学院実務法学研究科教授
衛 藤 隆	えとう たかし	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 日本子ども家庭総合研究所副所長 母子保健研究部長
大平 勝美	おおひら かつみ	社会福祉法人はばたき福祉事業団理事長
小山 信彌	こやま のぶや	東邦大学医学部外科学講座心臓血管外科教授
鈴木 邦彦	すずき くにひこ	社団法人日本医師会常任理事
角田 藍美	すみだ あいみ	全国学生献血推進実行委員会委員長
竹下 明裕	たけした あきひろ	国立大学法人浜松医科大学医学部准教授・輸血細胞治療部長
田中 里沙	たなか りさ	株式会社宣伝会議取締役編集室長
寺田 義和	てらだ よしかず	ガバナー協議会薬物乱用防止委員会副委員長
花井 十伍	はない じゅうご	ネットワーク医療と人権 理事
堀田 美枝子	ほった みえこ	埼玉県立浦和西高等学校養護教諭
村山 雪絵	むらやま ゆきえ	山形県健康福祉部保健業務課業務主査
室井 一男	むらい かずお	自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部教授
山本 シュウ	やまもと しゅう	ラジオDJ

(計14名、氏名五十音順)

## ① 若年層の献血者数の増加

目標: 10代の献血率を6.4%、20代の献血率を8.4%まで上昇させる。

(平成26年度までの達成目標)

・10代:平成21年度:6.0% → 平成22年度:6.1%  
(献血者数:293,696人 → 295,775人)

・20代:平成21年度:7.8% → 平成22年度:7.7%  
(献血者数:1,126,931人 → 1,080,814人)

### ◎ 中学生への普及啓発

血液の重要性や必要性について理解を深めるため、全国の中学校にポスターの配布。

○ 平成22年度配布枚数: 11,295校に3.6万枚

### ◎ 高校生への普及啓発

献血及び血液事業に対する理解を促進するため、全国の高校生及び教員へ献血についての副読本(けんけつHOP STEP JUMP)を配布。

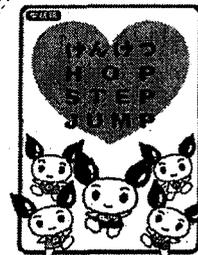
○ 平成22年度配布部数

・生徒用: 5,918校に116万部 ・教員用: 6万部

### ◎ 主に10代、20代の若年層を対象とした普及啓発

「はたちの献血」キャンペーン(毎年1~2月)啓発宣伝用ポスターを都道府県及び関係団体等に配布。

○ 平成22年度配布枚数: 3.7万枚



1

## ② 安定的な集団献血の確保(日本赤十字社に対する補助: 1/2補助)

目標: 集団献血等に協力する企業を50,000社まで増加させる。(平成26年度までの達成目標)

◎ 献血に積極的に協力する企業・団体が行う献血活動を社会貢献活動の一つとして広く一般社会に認知されるよう、「献血サポーター」ロゴマークを配布する等により企業・団体が行う献血活動の普及・拡大を図る。

結果:(集団献血に協力して頂いた企業・団体数(累計))

・平成21年度末時点: 43,193社 ・平成22年度末時点: 45,343社

○ 「献血サポーター」ロゴマーク配布枚数

・平成21年度: 1,450社 ・平成22年度: 1,483社



私たちは  
献血推進キャンペーンを  
応援しています。

## ③ 複数回献血の増加(日本赤十字社に対する補助: 1/2補助)

目標: 複数回献血者を年間120万人まで増加させる。(平成26年度までの達成目標)

◎ 複数回献血者を確保するため、血液センター毎に複数回献血者を確保するためのクラブを設立し、複数回献血者の確保を図る。

○ クラブ会員数(全国): 38万人(平成22年度末時点)

○ クラブ会員の实献血者数: 26万人(うち2回以上献血をした人: 17万人)

○ 非クラブ会員の实献血者数: 293万人(うち2回以上献血をした人: 83万人)

結果: 複数回献血者数

・平成21年度: 984,766人 ・平成22年度: 999,325人

2

#### ④ その他の普及啓発(全国的な普及啓発)

◎ 「愛の血液助け合い運動」(毎年7月)を厚生労働省、都道府県、日本赤十字社の主催により実施。啓発宣伝用ポスターを都道府県及び関係団体等に配布した。

○ 平成22年度配布枚数：3.8万枚

○ 平成23年度配布枚数：3.9万枚

◎ 「愛の血液助け合い運動」の一環として「献血運動推進全国大会」(毎年7月)を開催。今年度は、皇太子殿下に御臨席を賜り、山形県山形市において開催。

◎ テレビ、ラジオ、新聞等の政府広報を積極的に活用した普及啓発を実施。  
○ 平成22年度：政府広報オンライン(お役立ち記事)、ラジオCM80秒、インターネットテキスト広告(Yahoo・朝日.com)、モバイル広告、音声広報CD、新聞突出し広告

○ 平成23年度(8月末現在)：政府広報オンライン(月間行事概要)、厚生労働省HP政策レポート、厚生労働省広報誌「厚生労働」



## 各都道府県の運動実績

【平成22年度 行事等実績】

## ①平成23年4月1日施行予定の採血基準改正についての広報

## 【青森県】

都道府県名	行期(年月日)	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
青森県	H23.2.1～H23.3.31	ラジオ広報	RABラジオ(4回)、 FMアップルウェーブ(9回)	県民	ラジオ番組へ生出演して、周知を図った。	計13回放送
	H23.3.31	パンフレット作成	関係機関	県民	本社から送付されたデータを基に、パンフレットを作成し、関係機関に配布した。	7,000部作成

## 【岩手県】

都道府県名	行期(年月日)	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
岩手県	H22.5	市町村献血推進事務担当者会議	盛岡市内	市町村担当者	市町村献血推進事務担当者会議での周知	
	H23.2	県高等学校長会議	盛岡市内	高等学校長	県高等学校長会議での周知及び協力依頼	

## 【宮城県】

都道府県名	行期(年月日)	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
宮城県	H23.1～	広報資料「はじめよう！献血」作成	成人式会場	新成人	若年層の献血啓発、普及を目的としたリーフレットを作成し、採血基準改正について掲載	
	H23.2～	広報資料「献血しよう！」作成	県内高校	高校生	若年層の献血啓発、普及を目的としたリーフレットを作成し、採血基準改正について掲載	

## 【秋田県】

都道府県名	行期(年月日)	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
秋田県(赤十字血液センター)	H23.3.8	新聞への掲載		県民	血液センターの新聞広告に、採血基準を掲載した。	

## 【山形県】

都道府県名	行期(年月日)	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
山形県	H23.3	県ホームページでの広報	県ホームページ	県民	県のホームページで採血基準の改正について周知した。	
	H23.3	県内高校への周知		高等学校長	山形県教育委員会等を通して、各高等学校への制度周知を依頼した。	

## 【福島県】

都道府県名	行期(年月日)	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
福島県	H23.3.9～	薬務課ホームページに掲載			ホームページに掲載して周知を図った。	
	H23.3	採血基準一部改正に係るCM放送協力依頼			民放テレビ4局及びラジオ5局に広報依頼	

## 【群馬県】

都道府県名	行期(年月日)	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
群馬県	H23.3.11	テレビスポット放映	地元テレビ局の県政案内コーナーに血液担当職員が出演	全県民	献血基準の変更内容について、地元TV局の県政案内コーナーにて周知するとともに献血への協力を呼びかけた。	
	H23.3.31	TV・ラジオのスポットCMを放送	地元TV・ラジオ局アナウンサーによる県政スポットCM	全県民	献血基準の変更内容について、地元TV・ラジオ局アナウンサーによる周知及び献血への協力を呼びかけた。	
群馬県、群馬県赤十字血液センター	H23.3	県および血液センターHP上での広報	県および血液センターHP	全県民	HP上にて採血基準変更に係る広報を行い周知した。	

## 【千葉県】

都道府県名	実行年月日	実行の名称	開催場所	対象者	備考	
千葉県	年間	高等学校献血協力依頼	高等学校	県内の高等学校	県内196校へ23年度の献血依頼文書を送る際に、新献血基準の記載し400mL協力をお願いをした。	
	年間		各市町村等	献血者	各市町村の推進協議会における事前説明を実施。各市町村の広報誌に掲載を依頼、また各広報媒体へのリリースを行う。	
	H23.3～(予定)	血液センター広報誌へ記事掲載	-	県内在動・在住者	血液センター広報誌「ドナー通信」第65号(3月発行)	県内市町村担当窓口及び、各献血ルーム・献血会場にて配布 毎号4万5千部発行
	H23.3～(予定)	血液センターホームページ掲載	-	-	-	採血基準改正について、HPに掲載し周知を図る。

## 【東京都】

都道府県名	実行年月日	実行の名称	開催場所	対象者	備考
東京都	H22.4.1～現在継続中	※各市区町の献血推進協議会 ※PTA等説明会	市区町地域の会議室	幅広い年代	献血思想の普及及び献血組織間の情報交換を図ることによって、献血制度の適正な運営に資することを目的とする。
	H23.3.30	広報東京都、東京都ホームページに掲載	新聞折込	幅広い年代	採血基準の改正内容を掲載
	(H23.4.11)	(東京都提供ラジオ番組で放送)	(民放ラジオ局の番組中)	(幅広い年代)	(採血基準の改正内容をアナウンス)
日本赤十字社本社	H23.3.1～H23.3.31	採血基準改正に伴う情報提供と周知	各放送局	幅広い年代	新聞広告の掲載・テレビCM放送・ラジオ放送

## 【新潟県】

都道府県名	実行年月日	実行の名称	開催場所	対象者	備考
新潟県	H22.12	高等学校、中等教育学校あて周知依頼		高校生等	将来の献血を支える若年層へ献血知識の普及啓発を図った。
	H23.1	献血リーフレットへの掲載		一般	一般県民へ献血知識の普及啓発を図った。
	H23.1～	ホームページへの掲載		一般	一般県民へ献血知識の普及啓発を図った。
	H23.3	CMの放送依頼に係るマスコミ訪問		県内テレビ局、ラジオ局(計7局)	県、血液センターで県内のマスコミ各社を訪問し、献血への理解と協力、CM放送依頼を行った。
	H23.3～H23.12	アルビレックス新潟のホームゲームでのPR	東北電力ビッグスワン	会場に登場したサポーター	アルビレックス新潟のホームゲームにおいて、本社製作テレビCM素材(15秒)にてPRを行った。

## 【富山県】

都道府県名	実行年月日	実行の名称	開催場所	対象者	備考
富山県	H23.3	日赤本社作成のポスターの配布			日赤本社作成のポスターを県内高等学校、市町村に配布。
	H23.3	ホームページへの情報掲載。			血液センターホームページへの情報掲載。

## 【石川県】

都道府県名	実行年月日	実行の名称	開催場所	対象者	備考
石川県赤十字血液センター	H23.2.26	平成22年度第2回石川県学生献血推進委員会総会	金沢市内ホテル	大学生、短大生等	血液センター職員が大学生等に採血基準の改正ポイントについて説明し、特に400mL献血を推進する。 学生ボランティア50名が参加予定

## 【福井県】

都道府県名	実行年月日	実行の名称	開催場所	対象者	備考
福井県、 福井県赤十字血液センター	H22.4.16	高等学校長会	県庁	高等学校長	高等学校における献血の協力依頼および普及啓発を行った。
	H22.11～H22.12	採血基準改正・出前講座の広報	各高等学校(全38校)	高等学校教頭、保健指導主事	血液・献血出前講座の実施の依頼と併せて採血基準の改正について高校での周知を依頼した。

【山梨県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
山梨県	H23.2.24	県保健所担当者会議	血液センター	県担当者	採血基準改正について保健所へ周知を行う。	
	H23.5	市町村担当者会議	県立文学館	市町村担当者	採血基準改正について各市町村へ周知を行う。	
	H23.3	各高等学校、市町村への通知				
	H23.3~	各献血団体担当者への説明	各献血団体	各献血団体担当者	採血基準改正について各献血団体担当者へ周知を行う。	

【長野県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
長野県	H22.12.16	長野県献血推進計画会議	県庁会議室	保健所職員	機会をとらえて県民への周知を依頼	新基準を県ホームページに掲載

【静岡県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
静岡県	H23.3.20	「献血情報コーナー」の放送	静岡放送(AMラジオ局)	県民	県内全域に放送しているAMラジオ局において、H23.3.20の公開生放送の中で献血情報コーナーを設け、その中で採血基準の改正について話をした。	

【愛知県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
愛知県	H22.7.1~H22.7.31	愛の血液助け合い運動	県内全域	一般県民	献血啓発資料(絆創膏、ウエットティッシュ)に採血基準が改正されることを記載し、献血時などさまざまな機会を通じて活用した。	絆創膏 40,000個 ウエットティッシュ 20,000個

【三重県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
三重県、血液センター	H23.1.9	はたちの献血キャンペーン	イオン鈴鹿ベルシティ	高校生・大学生・一般	地元アーティストうたまるを1日所長に委嘱し、県民に献血の大切さを訴えた。	
三重県、三重県赤十字血液センター			ホームページの掲載		ホームページに基準改正の案内を掲載し、広く県民に周知を行った。	
			チラシ・ポスターの配布・掲示	保健所・企業・団体・高校	基準改正の案内チラシ・ポスターを配布・掲示し、広く県民に周知を行った。	

【滋賀県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
滋賀県	H23.3	高校生向けリーフレットの作成		県内高校生	採血基準の見直しの周知を機に献血普及啓発用リーフレットを作成。(配布はH23年度5月予定)	

【大阪府】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
大阪府	H22.6.17	市町村献血推進担当者会議	大阪赤十字会館	市町村担当者	献血についての研修会、年度計画等の説明	
	H23.3.1~	各種広報媒体を使用したの周知	府内一円	府民	映画とタイアップしたポスターでの周知 フリーペーパーでの周知 府機関紙、ホームページでの周知 電光掲示板やTVバナーでの周知	ポスターは府内の全高校に配布
	H23.3.24	市町村献血推進協議会長会議	大阪赤十字会館	市町村献血推進協議会長等	献血の現状、献血推進計画の説明等	

## 【兵庫県】

都道府県名	実行年月日	内容の名称	実施場所	対象者	備考
兵庫県赤十字血液センター	H23.3	献血情報		幅広い年代	兵庫県赤十字血液センター広報紙「献血情報」にて広報。
日本赤十字社本社	H23.3	新聞広告		幅広い年代	新聞広告掲載
兵庫県血液センター	H22.11	新献血制度普及啓発強化事業	兵庫県赤十字血液センター	幅広い年代	平成23年4月から改正採血基準が施行され、献血可能年齢が拡大されることから、改正前後の平成22、23年度に新献血制度普及啓発強化員を配置し、対象年齢層をはじめとする県民に対して重点的に周知し、より一層献血に対する住民の理解を深め、献血者の確保を図る。

## 【奈良県】

都道府県名	実行年月日	内容の名称	実施場所	対象者	備考
奈良県	H23.3.29	採血基準改正についての通知		市町村・保健所、県医師会・病院協会、日赤支部・センター、県立病院、県庁関係各所	厚生労働省医薬食品局長通知(薬食発0311第1号)の写しを各所へ通知

## 【和歌山県】

都道府県名	実行年月日	内容の名称	実施場所	対象者	備考
和歌山県	H23.3	テレビスポットによる広報	テレビ和歌山	県民	CM15秒スポットを16回行った。
	H23.3	高等学校の訪問	平成22年度献血を実施した高等学校	高等学校	採血基準の改正と平成23年度の献血及び高校生献血学習の実施を依頼した。
和歌山県赤十字血液センター	H23.3	日本赤十字社作成ポスターの掲示	県、各市町村	県民	県、各市町村に、ポスター掲示を依頼した。

## 【鳥取県】

都道府県名	実行年月日	内容の名称	実施場所	対象者	備考	
鳥取県	H23.3	「新しい採血基準」	通知	日赤支部、血液センター、市町村、教育委員会	血液センター、日赤支部、市町村、教育委員会へ周知の通知をした。	
日本赤十字社鳥取支部	H23.3月中旬	日赤支部の広報紙「赤十字とっとり」	県内全戸配布	県民	安定的な血液を確保するため、広く県民に周知することを目的とする。	18万部
鳥取県赤十字血液センター	H23.3月中旬	センター広報紙	県内事業所配布	事業所	安定的な血液を確保するため、広く県民に周知することを目的とする。	5000部

## 【島根県】

都道府県名	実行年月日	内容の名称	実施場所	対象者	備考
島根県血液センター	H23.3				ホームページに基準改正のお知らせ、採血基準改正表を掲載 ポスターを各保健所、市町村に掲示 改訂リーフレットを事業所等へ配布

## 【岡山県】

都道府県名	実行年月日	内容の名称	実施場所	対象者	備考	
岡山県	H23.3.21	採血基準改正の新聞広告	山陽新聞	県民各層	新聞広告の掲載により、県民各層への採血基準改正の周知を図った。	新聞広告の掲載により、県民各層への採血基準改正の周知が図れた。
	H23.3.18～H23.3.31の間(連日)	採血基準改正のテレビCM放送	山陽放送・岡山放送・西日本放送・瀬戸内海放送	県民各層	テレビCM放送をとおして、県民各層への採血基準改正の周知を図った。	テレビCM放送をとおして、県民各層への採血基準改正の周知が図れた。
	H23.2、H23.3	高校卒業生用チラシの配布	県内全校等学校	高校卒業生	400mL献血が可能となる年齢に当たる高校卒業生の全員に配布した。	新しい採血基準による。

【広島県】

都道府県名	発行年月日	発行の名称	開催場所	対象	備考	
広島県	H23.2	クリアファイル配布		高校3年生	ファイルに改正の旨記載、高校宛送付文書にも申し添える	学校の協力
	H23.3	ラジオ放送	NHK広島	県民全般	改正内容を紹介	
	H23.3	県ホームページ掲載		同上	厚生労働省ホームページにリンク	
	H23.4	テレビ放送	広島テレビ	同上	改正内容を紹介	

【山口県】

都道府県名	発行年月日	発行の名称	開催場所	対象	備考	
山口県	H23.3	各放送局からの広報	県内	県民	パブリシティによる広報	
	H23.1	KRYラジオワンポイント県政「はたちの献血」	県内	県民	番組の中で広報	

【徳島県】

都道府県名	発行年月日	発行の名称	開催場所	対象	備考	
徳島県	H23.3	保健所管内献血担当者会議	保健所	市町村、事業者	担当者に新採血制度についての概要説明を行った。	
	H23.3	徳島県献血推進協議会	ホテル グランヴィリオ	医療関係、教育関係等委員	委員に新採血制度についての概要説明を行った。	
	H23.3			市町村、高等学校、専門学校	厚生労働省からの採血基準改正通知を受け、関係機関に通知をし周知を図った。	
	H23.3	けんけつ「ハートメッセンジャー」事業		若年層	若年層に身近なタウン誌『あわわ』[タウン情報トクシマ]の3月号に、採血基準改正に関する記事を掲載し、広報した。	

【香川県】

都道府県名	発行年月日	発行の名称	開催場所	対象	備考	
香川県	H23.3.1発行	香川県広報誌3月号	みんなの県政「THEかがわ」3月号	県民	県内全世帯配布の県の広報誌(3月号)に採血基準改正を掲載。	
	H23.3.18	四国新聞「オアシス」広報	四国新聞「オアシス」	県民	毎週金曜日発行の四国新聞ウィークリー生活情報誌「オアシス」に採血基準改正を掲載。	

【高知県】

都道府県名	発行年月日	発行の名称	開催場所	対象	備考	
高知県	H23.2.25	高知市献血推進員連絡会	高知市保健所	高知市献血推進員	平成22年度の献血活動報告	
	H23.3.17	高知県献血推進協議会	高知共済会館	高知県献血推進委員	平成22年度の献血活動報告	

【愛媛県】

都道府県名	発行年月日	発行の名称	開催場所	対象	備考	
愛媛県	H23.2.17	愛媛県献血者確保計画策定検討委員会	愛媛県庁	マスコミ	H23年度の愛媛県献血推進計画を策定するとともに、採血基準の周知を行うことを報道機関を通じ広報した。	

【福岡県】

都道府県名	発行年月日	発行の名称	開催場所	対象	備考	
福岡県	H23.3.18	情報提供		市町村	市政だより等、行政の広報のための情報提供	

【佐賀県】

都道府県名	発行年月日	発行の名称	開催場所	対象	備考	
佐賀県	H23.3.1~H23.3.31	採血基準改正に伴うテレビCM	sat佐賀放送局管内	一般視聴者	4月1日採血基準改正についての広報	日本赤十字社全国一斉広報

## 【長崎県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
長崎県	H23.3.25	マスコミへの出稿依頼	テレビ局及びラジオ局	報道担当者	テレビ1局、ラジオ4局へCMテープによる出稿依頼	

## 【熊本県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
熊本県	H23.2.14～H23.3.10	地域献血推進会議開催	県保健所	市町村担当者、団体・企業等の献血推進リーダー	献血の現状と課題、新採血基準変更等について説明を行い、協力を要請した。	

## 【大分県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
大分県	H23.1.23	ヤング献血フェスタ45	大分県医師会館	県民	大分県献血制度発足45周年記念大会において、採血基準改正についてのPRを実施。	参加者200名に対し、400mL献血可能年齢の引き下げを周知できた。
	H23.3.1～H23.3.31	バス車内広告	バス車内広告	バス乗客	大分市内を走る路線バス110台の車内に、採血基準改正についてのポスターを掲示。	バス通学の学生等に対し、400mL献血可能年齢の引き下げを周知できた。

## 【宮崎県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
宮崎県	H23.3.9	がんばる献血応援団	新聞	県民全般	採血基準改正予定のお知らせ	

## 【鹿児島県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
鹿児島県	H22.4～	会議等を通じた広報	県、保健所、市町村		県及び市町村献血推進対策協議会など各種会議・研修会・講座などで基準改正の趣旨を説明	
	H22.4～	HP・広報誌等を通じた広報	県、保健所、市町村		県、一部の保健所・市町村において、HPに基準改正を掲載。また一部の市町村において広報誌に掲載。	
	H23.3.14～H23.4.30	県政広報番組を活用した広報		一般県民	県政広報番組を活用し、基準改正を広報	
鹿児島県、鹿児島県赤十字血液センター	H22.9～	訪問による広報	県内高等学校	校長等	県、一部の保健所において、血液センター職員と高等学校を訪問し、校長等に基準改正の趣旨を説明	
鹿児島県赤十字血液センター	H23.1～	情報誌「ABOネット」に掲載	献血バス及び固定施設	献血者及び献血団体・医療機関へ配付	献血情報誌として、献血団体や輸血を受けた方の記事などと併せて、基準改正の記事を掲載し42000部配付	
	H23.3～	ポイントカード	県内高等学校	高校生	高校生向けに基準改正を広報し、特典をつけて固定施設及び献血バスへ誘導	

## 【沖縄県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
沖縄県	H23.3.6	ゆいまーる献血コンサート	ショッピングセンター特設ステージ	来客者	アーティストによるコンサートの合間に献血トーク(献血の現状説明等)及び献血クイズを実施した。また、複数回登録の推進に関しては、パンフの配布やアーティストと共に呼びかけを行った。当日は移動献血も同時に実施した。	
	H22.12.3	第5回定例研究協議会	沖縄県高等学校長協会 定例研究協議会	県内高等学校長	基準改正についての周知を図るとともに、献血教室への協力を依頼した。	献血教室に対して学校側が協力的になった。

②地域の特性に応じ、キッズスペースを確保する等の親子が献血にふれあう機会を設けるための取組

【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	備考
北海道	H22.7.30～H22.7.31	厚別区民まつり	ふれあい広場あつべつ科学館公園前	札幌市厚別区民	例年、まつり会場で献血について、パネル展を行い啓発をしていたが、今回より子ども向け(親子連れを含む)のクイズ等を行い連日、多くの子供で盛況となった。 親子連れによる献血クイズの参加も多く、より、献血を身近なものに感じていただけたのではと思う。

【岩手県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	備考
岩手県	H23.3	献血ルームのリニューアル	もりおか献血ルーム「メルシー」	県民	キッズスペースの設置

【宮城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	備考
宮城県赤十字血液センター	通年	キッズスペースを確保	社の都献血ルームAOBA	幼児及びその保護者	お子様連れの方も安心して献血できるよう、献血ルーム内にキッズスペースを設けている

【秋田県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	備考
秋田県	H22.4～	「ふれあい献血」キャンペーン	県内各所	県民	親子連れの方や、普段献血の機会のない方の献血を通じ、献血思想の普及を図った。
秋田県(赤十字血液センター)	H22.11.1	血液センターリニューアルオープン	秋田県赤十字血液センター	幼児から小学生	キッズコーナーを拡張し、環境も整備した。

【福島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	備考
福島県	H22.7.28～H22.7.29	夏休み血液センター見学会	福島県赤十字血液センター	小学校高学年	献血にかかる絵本の読み聞かせ・クイズ等を通じて、献血について興味や関心を持ってもらうことを目的とした企画
	H23.2.19～H23.2.20	献血フェスティバル(キッズ献血コーナー)	福島県赤十字血液センター	献血年齢に満たない子供	模擬献血を通して献血の仕組みやその意義等についての理解を深めてもらうことを目的とした企画

【茨城県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	備考
茨城県	H22.7	イベントキッズスペースの設置	つくば献血ルーム	子供	つくば献血ルームの増改築に併せイベントキッズスペースを確保した。

【群馬県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	備考
群馬県赤十字血液センター	H22.12.15	採血出張所へのキッズスペースの設置	血液センター高崎出張所	乳幼児とその保護者等	出張採血所の移転新規開設に伴い、献血に協力する意思のある乳幼児の保護者等が、安心して献血に協力できるよう乳幼児を一時預かる施設を採血所内に設置した。
	H22.11.23	「献血感謝デー」キャンペーン	県内大型ショッピングモール	ファミリー世代層を中心とする幅広い年齢層	日ごろの献血協力への感謝の意を表わすとともに、一層の献血思想の普及推進を図ること目的として実施した。 血液センター所長感謝状贈呈式、健康相談、地元戦隊キャラクターによる献血啓発ショーなど幅広い年齢層が楽しめる内容で実施した。

【埼玉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	備考
埼玉県	H22.7.25	親子ふれあい献血キャンペーン	深谷市上葉ショッピングセンター	親子を中心とした幅広い世代	キャラクターショーや献血を実施し、親が献血する姿を子が見ることで献血に触れる機会を設けた。 受付者252人 献血者209人

## 【千葉県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
千葉県	H22.8.2	キッズ献血セミナー「親子で献血クッキング」	公立学校共済組合 ホテルポートプラザ千葉・千葉県赤十字会館	小中学生及び保護者	親子で、献血や血液についての学習(スライド)や「貧血予防のメニュー」の調理実習と試食、献血車・血液運搬車の乗車体験を通じて、献血への理解を深める。	合計58名(保護者26・児童32)が参加。後日、報告記事を血液センター広報紙での紹介し、献血啓発に繋げる。地元TVのニュース番組でも紹介された。

## 【東京都】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
東京都	H22.4.1～	環境整備	献血ルームタキオン・町田ルーム(コソフィー)	親子連れ	献血ルームに多目的スペースを設け、子育て中の方でも献血しやすい環境を目的とする。	

## 【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
新潟県	常設	キッズスペースの設置	献血ルーム千秋	親子連れ	献血ルームを訪れる親子連れのために、キッズスペース(献血ルーム千秋に限る。)の設置、絵本の配置を行った。	
		幼児・子供向け絵本の配置	献血ルーム			

## 【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
富山県	H22.8.8	はたらく車(採血車展示)	富山祭り会場	一般県民	親子いっしょに献血バスの乗車体験	250名程の見学あり
	H22.4～H23.3	親子連れの献血で落書き帳を配布	ショッピングセンター	幼児		

## 【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
石川県赤十字血液センター	H22.7.31、H22.8.14	なぜ?なに?おしえてけん血	石川県赤十字血液センター	小学生及び保護者	血液の勉強、日赤作成DVD鑑賞、施設・車両を見学する。	小学生99名、保護者81名、計180名の参加があった。

## 【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
福井県赤十字血液センター	H22.7.26、H22.7.27、H22.8.3	血液センター見学会	血液センター	親子(小学生)	県支部と共催で、血液センターの見学会を開催し、献血の普及啓発を行った。	
福井県、福井県赤十字血液センター	H22.8.23	親子献血教室	福井県立図書館	親子(小学生)	親子で献血について学ぶための教室を開催し、献血の普及啓発を行った。	

## 【山梨県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
山梨県	H22.11.13	田富みかさ幼稚園祭	幼稚園内	幼稚園PTA	幼稚園内へ採血車を配車し、園児の見学と保護者による献血を行った。	40名の保護者に献血頂いた。

## 【滋賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
滋賀県	H22.8.29	湖北長浜1000人献血	長浜市	小・中学生と保護者	琵琶湖湖上にて、献血クイズや勉強会を実施	

## 【京都府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
京都府	H23.7.30	Kids献血探偵団	献血ルーム京都駅前	小学生及びその保護者	献血ルーム見学会	

## 【大阪府】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
大阪府赤十字血液センター	H22.9.1～	まいどなんば献血ルーム開設	まいどなんば献血ルーム	府民	キッズスペースを設置した	

【兵庫県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
兵庫県赤十字血液センター	H22.7.24	レスキューミーツ×イザ！カエルキャラバン！	兵庫県広域防災センター	ファミリー	近畿地区の消防隊員による消防救助技術を競い合う大会と同時に開催されたイベントにて、けんけつちゃんの着ぐるみを登場させ献血をPR。献血のバスの配車あり。	

【鳥取県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
鳥取県赤十字血液センター	年中	めり絵及び絵本	固定採血施設	幼稚園児及び小学低学年児童	キッズスペースがないため、めり絵や絵本を準備し、献血にふれあう機会を設けている。	

【岡山県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
岡山県	H22.7.30 H22.8.2～H22.8.3 H22.8.9～H22.8.12	夏休み小学生親子血液センター見学体験教室	岡山県赤十字血液センター	小学校5・6年生及び保護者	将来の献血者として、輸血医療を支えていただける小学生に、親子で血液や献血について知識や興味をもっていただくと共に親しんでいただくことで献血思想の普及を図った。	県内424校の小学校に参加を呼びかけ、108校・558名(保護者を含む)の参加があった。

【広島県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
広島県	H22.7.27～H22.7.29	なるほど献血教室	血液センター	小学生高学年と保護者等	献血バス及び血液センター見学、血液に関するクイズ	
	常設	ルームにキッズスペースを設置	もみじ			
	常設	子供用DVD観賞スペースを設置	ばら			

【徳島県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
徳島県赤十字血液センター	H22.7.24、H22.7.25、H22.7.31、H22.8.1	夏休み親子血液ゼミナール	徳島県赤十字血液センター	小学生と保護者	血液の働き、輸血の歴史、献血から輸血までの流れ、血液センターの仕事などを学習し、児童と保護者への血液事業に対する理解及び関心を高めることを目的に、夏休みを利用して学習会を開催した。	

【愛媛県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
愛媛県	H22.7.1～H22.8.31	親子参加による献血の募集	愛媛県大街道献血ルーム	一般	予約献血により一定規模の希望者を確保することにより、臨時的に休憩室の一部をキッズスペースとして使用できないか検討した。	希望者はいなかった。

【高知県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
高知県	H22.7.4	七夕献血	高知市中央公園	若年層中心		
	H22.12.19	クリスマス献血	高知市中央公園	若年層中心		

【福岡県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
福岡県	H23.3.22～	キッズスペース設置	献血ルームおっしょい博多	献血ルーム来所の親子	日赤本社マニュアルに基づき献血ルームにキッズスペースを併設	

【佐賀県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
佐賀県	H22.8.28	夏休み子ども献血教室in109シネマズ	109シネマズ(モラージュ佐賀内)	小学生及び保護者	小学生に献血の必要性及び重要性を学んでもらい、将来の献血者を育成する。	

## 【長崎県】

都道府県名	開催年月日	行いの名称	開催場所	対象	概要	備考
長崎県	H22.8.21	西浦上小学校区夏祭り	西浦上小学校	小学生及び地域住民	献血コーナーを設け小学生対象の献血クイズとグッズ配付	

## 【大分県】

都道府県名	開催年月日	行いの名称	開催場所	対象	概要	備考
大分県赤十字血液センター	H22.8.1、H22.8.8	夏休み親子けんけつ教室	献血ルーム及び九州センター	親子(小学生と保護者)	献血の重要性を理解していただくため、献血現場や血液製剤の工程を見学する。	参加者親子26組(69人)に献血の大切さを認識していただいた。
	H23.3.27	献血バス&献血ちゃんスケッチ大会	血液センター	親子(小学生と保護者)	献血の重要性を理解していただくため、献血の現状等をお話しを行い、その後献血バスやけんけつちゃんを題材にスケッチ大会を実施する。	参加者親子8組(25人)に献血の大切さを認識していただいた。

## 【宮崎県】

都道府県名	開催年月日	行いの名称	開催場所	対象	概要	備考
宮崎県	H22.11.7、H22.11.14、H22.12.4	親子で参加、献血スクール	県内小学校3カ所	小学生親子	献血クイズ等の実施	

## 【鹿児島県】

都道府県名	開催年月日	行いの名称	開催場所	対象	概要	備考
鹿児島県赤十字血液センター	H22.8.19～H22.8.21	楽しく学ぼうキッズ献血	血液センター	小学生と保護者	「献血のしくみ」、「アンパンマンのエキス」を見たり施設見学や献血模擬体験(キッズ献血)と「命の授業」など実施し、将来の献血導入を図る	

## ③「献血出前講座」や血液センター等での体験学習への取組

## 【北海道】

都道府県名	開催年月日	行いの名称	開催場所	対象	概要	備考
北海道	H22.4～H23.3	ライオンズクラブ例会時の献血講話	各ライオンズクラブの例会開催場所	ライオンズクラブ会員	献血協力及び献血の呼びかけ等、支援をいただいている団体であることから、スライド等を利用し講話することで、より、献血を理解していただき、今後の活動に活かしていただく。	年度における実施回数は7回の出前講座で合計で約200名の方を対象としました。
	H22.5.13	献血出前講座	山の宇高等学校	教員(40名)	献血に対する理解と啓発、教員へ血小板成分献血の協力をお願いと併せて教員から生徒への献血についての啓発等していただくことを目的に実施。	
	H22.6.2	献血出前講座	天理教(美唄市・札幌市)	信者(40名)	献血協力及び献血の呼びかけ等、支援をいただいている団体であることから、スライド等を利用し講話することで、より、献血を理解していただき、今後の活動に活かしていただく。	例会の開催場所が札幌・美唄であったため両地区で実施

## 【青森県】

都道府県名	開催年月日	行いの名称	開催場所	対象	概要	備考
青森県	H22.5.13	高等学校研修会	青森県立青森中央高等学校	3学年	血液や献血に関してスライド、パンフレット、DVDを使用して勉強会を行い、献血への理解を深めてもらった。	生徒38名、先生3名参加
	H22.7.28～H22.7.30	献血親子セミナー	血液センター	小学校4～6年生と保護者	小学生の頃から献血に興味を持ってもらえるようスライドを使用して血液や献血についての勉強会及び血液センターや献血バスの見学をしてもらった。	生徒45名、保護者10名参加
	H22.12.22	中学校研修会	弘前市立第4中学校	全校生徒	血液や献血に関してスライド、パンフレット、DVDを使用して勉強会を行い、献血への理解を深めてもらった。	生徒560名、先生15名参加

## 【岩手県】

都道府県名	開催年月日	行いの名称	開催場所	対象	概要	備考
岩手県	H22.8	親子の血液センター見学会	血液センター	小中学生	親子の血液センター見学会の開催	

【宮城県】

都道府県名	行役年月日	その名称	開催場所	対象	概要	備考
宮城県赤十字血液センター	H22.7.24～H22.8.3 (計7日間開催)	けんけつKID'Sサマースクール	血液センター3階会議室	小学4～6年及びその保護者	若年層の献血啓発、普及を目的として実施	7日間開催し合計で500名参加
	H22.7.20	聖ウルスラ英智高等学校 職場体験学習	献血ルームAER20	高校2年生	若年層の献血啓発、普及を目的として実施	2名参加
	H22.8.23	仙台市立幸町中学校 職場体験学習	献血ルームAER20	中学2年生	若年層の献血啓発、普及を目的として実施	2名参加
	H22.8.25	仙台市立南光台中学校 職場体験学習	血液センター	中学2年生	若年層の献血啓発、普及を目的として実施	2名参加
	H22.10.20	仙台市立上杉山中学校 職場体験学習	血液センター	中学2年生	若年層の献血啓発、普及を目的として実施	3名参加
	H22.4.6～現在まで7回開催	献血出前講座およびセミナー	仙台高等技術専門学校等	主に、大学、専門学校生、企業の新入社員	主に20代対象に献血の重要性を学ぶ機会の場合として実施	7回開催合計で約1,000名参加
	H22.6.28～H23.3.14まで7回開催	血液センター見学会	血液センター	各献血推進協力団体等	献血推進、協力団体に対して、献血後の血液の処理工程等を見ていただくことで、献血活動の重要性等について更なる理解を深めていただくことを目的として開催	7回開催合計で、約130名参加

【秋田県】

都道府県名	行役年月日	その名称	開催場所	対象	概要	備考
秋田県(赤十字血液センター)	H22.5～H22.12	献血講話	血液センター及び学校等	学生	血液事業に関わる内容をスライド説明するとともに施設見学等を実施した。	約10～200名が参加

【山形県】

都道府県名	行役年月日	その名称	開催場所	対象	概要	備考
山形県	通年	次世代の献血者育成事業	県内中学校	中学生(主として3年生)	まもなく献血が可能になる中学生(主として3年生)に対し、献血の仕組みや必要性について啓発を行い、将来に向けた安定的な献血協力体制の基盤整備を図った。	中学校45校に対し啓発資料を配布。うち、13校で献血に関する講演を実施。

【福島県】

都道府県名	行役年月日	その名称	開催場所	対象	概要	備考
福島県	H22.4～	献血出前講座の開催	県内8保健所管内で開催		各保健所の出前講座のメニューに「献血」に関する講座を設け高等学校等から依頼があった場合には担当職員を派遣。	15件

【茨城県】

都道府県名	行役年月日	その名称	開催場所	対象	概要	備考
茨城県	通年	施設見学会	血液センター	高校・大学生及び推進団体	パワーポイント等を使用し3回実施	47名参加
	通年	献血出前セミナー		高校生及び一般	パワーポイント及び映像素材等を使用し血液に関するセミナーを実施	4ヶ所で実施 248名の参加

【群馬県】

都道府県名	行役年月日	その名称	開催場所	対象	概要	備考
群馬県赤十字血液センター	H22.8.3、H22.8.4、H22.8.6	夏休み親子献血教室	群馬県赤十字血液センター	献血に興味のある小学校5年生から6年生とその保護者	将来、血液供給の担い手となる子ども達に学習期から積極的に献血に親しんでもらうことを目的として、献血や奉仕事業に関する教室を開催した。	教室の内容は参加者より好評を得た。献血協力のすそ野を広げるため、今後も継続して当該事業を実施する予定。

【埼玉県】

都道府県名	行役年月日	その名称	開催場所	対象	概要	備考
埼玉県	通年	血液に関する出前講座	申込のあった学校	申込のあった学校の児童・生徒等	血液センター元所長による血液に関する講義(血液のはたらき、血液の病気、献血について)を実施した。	小学校5校、中学校1校、高等学校4校

## 【千葉県】

開催県名	開催年月日	活動の名称	開催場所	対象者	内容	備考
千葉県	H22.10.20	「献血出前講座」	千葉県立八街高等学校	3年生及び教員	血液と献血についての学習(パワーポイント使用)	3年生約200人及び教員が参加。
	H22.11.16	「献血出前講座」	千葉県立匝理高等学校	1年生及び教員	血液と献血についての学習(パワーポイント使用)	1年生約330人及び教員が参加。
	H22.12.21	「献血出前講座」	千葉県八千代東高等学校	全校生及び教員	血液と献血についての学習(パワーポイント使用)	全校生約760人及び教員が参加
	H22.7.27～H22.7.29	血液センター体験学習(職場体験)	船橋市立坪井中学校・船橋献血ルーム	2年生	血液と献血についての学習(パワーポイント使用)及び、船橋献血ルームでの呼び掛け・接遇体験など	2年生全員約150人が参加。献血ルーム体験では、全員が呼び掛け体験をし、新聞等で報告記事が掲載される。
	H22.6.23	体験学習(中学生職場体験)	千葉県赤十字会館 モノレルちば駅献血ルーム	県内中学生	献血冊子及びDVDを用いての献血学習 献血ルームでの呼び掛け・接遇体験	献血について講義を受けたのち実際に献血ルームにて、献血の呼び掛けや接遇を体験する。2名参加
	H22.9.16	体験学習(中学生職場体験)	千葉県赤十字会館 モノレルちば駅献血ルーム	県内中学生	献血冊子及びDVDを用いての献血学習 献血ルームでの呼び掛け・接遇体験	献血について講義を受けたのち実際に献血ルームにて、献血の呼び掛けや接遇を体験する。9名参加
	H22.11.10	体験学習(中学生職場体験)	千葉県赤十字会館 モノレルちば駅献血ルーム	県内中学生	献血冊子及びDVDを用いての献血学習 献血ルームでの呼び掛け・接遇体験	献血について講義を受けたのち実際に献血ルームにて、献血の呼び掛けや接遇を体験する。5名参加
	H22.11.11	体験学習(中学生職場体験)	船橋献血ルームフェイス (船橋出張所)	県内中学生	献血ルームにて、献血学習及び献血体験	献血についての学習のあと、呼び掛けや接遇を体験する。5名参加
	H22.11.25	体験学習(中学生職場体験)	千葉県赤十字会館 モノレルちば駅献血ルーム	県内中学生	献血冊子及びDVDを用いての献血学習 献血ルームでの呼び掛け・接遇体験	献血について講義を受けたのち実際に献血ルームにて、献血の呼び掛けや接遇を体験する。4名参加
	H22.11.25	体験学習(中学生職場体験)	松戸献血ルームピニア (松戸出張所)	県内中学生	献血ルームにて、献血学習及び献血体験	献血についての学習のあと、呼び掛けや接遇を体験する。2名参加
	H22.12.1	体験学習(中学生職場体験)	千葉県赤十字会館 モノレルちば駅献血ルーム	県内中学生	献血冊子及びDVDを用いての献血学習 献血ルームでの呼び掛け・接遇体験	献血について講義を受けたのち実際に献血ルームにて、献血の呼び掛けや接遇を体験する。5名参加
	H22.7.13	体験学習(小学生・町探検)	千葉県赤十字血液センター	小学生及び保護者	血液センターの仕事や献血のしくみを学習 (施設見学・献血バス・血液運搬車体験乗車)	地元小学生及び保護者 10名参加

## 【東京都】

開催県名	開催年月日	活動の名称	開催場所	対象者	内容	備考
東京都	H22.4.1～随時	出前講座(説明会)	先方の会議室・地域施設の会議室他	献血団体・幅広い年代	パンフレット活用や各自で資料を作成し、説明会時に映像素材も活用して献血思想の普及につなげることを目的とする。	高校・専門学校 計8校 地域PTA他
	H22.7.27、H22.7.28、H22.7.30、 H22.7.31、H22.8.3、H22.8.4	なるほど！献血ゼミナール	血液センター所内	小学校中高学年を中心とした年代	将来を担う若年層への献血思想の普及・啓発を図る。	平成22年度は延べ524人の参加があった。

【神奈川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
神奈川県、 神奈川県赤十字 血液センター	①H22.7.26～H22.7.30、 H22.8.9～H22.8.20 ②H22.8.2～H22.8.6	夏休み小中学生親子献血教室	①神奈川県赤十字血液センター(厚木会場) ②横浜駅西口献血ルーム等(横浜会場)	県内在住・在学の小中学生 及びその保護者	小中学生及びその保護者に、命の大切さやその命を支える献血の必要性及び重要性について理解を深めてもらう。	参加者：①153人 ②133人
神奈川県赤十字 血液センター	H22.5.28	PTA献血事前説明会	横浜市立矢上小学校	同小学校PTA30人	献血の必要性、移動車配車当日の献血者確保、こども達の将来の献血にもつなげていただく様説明。	
	H22.7.8	PTA献血事前説明会	横浜市立長津田小学校	同小学校PTA30人	献血の必要性、移動車配車当日の献血者確保、こども達の将来の献血にもつなげていただく様説明。	
	H22.9.1	ポラフェスタ参加ボランティア学生による施設見学	県血液センター(母体)	ボランティア学生35人	スライドを用いて献血に関する基本的知識を身につけ、ポラフェスタの開催意義を自覚し、県民や同年代の若者に献血の必要性を伝えてもらうための研修。(母体見学含む)	
	H22.10.6	PTA献血事前説明会	横浜市立山下小学校	同小学校PTA30人	献血の必要性、移動車配車当日の献血者確保、こども達の将来の献血にもつなげていただく様説明。	
	H23.3	秦野市立洗沢小学校6年生対象献血講話	秦野市立洗沢小学校	6年生160人	スライドを用いて献血に関する知識をつけていただき、将来の献血協力につながる講話を実施する。	

【新潟県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
新潟県	随時	献血普及講演会	高等学校、専門学校、中学校、小学校	小学生～大学生	将来の献血を支える若年層へ献血知識の普及啓発を図った。	13校実施
		献血ルーム見学会	献血ルーム			1校実施

【富山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
富山県	H22.7.31 H23.8.7	親子見学会(低学年)	血液センター	小学2年～3年生	献血の説明会、施設見学、献血バスや献血運動車の乗車体験	同日 親子15組30名参加

【石川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
日赤石川県支部 石川県赤十字血液 センター	H22.6.4	第31回石川県高等学校JRC大会グループ活動	いしかわ子ども交流センター	高校生	献血についての講話を行い、献血の必要性を訴える。	高校生300名が参加した。

【福井県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
福井県赤十字 血液センター	H22.7.26、H22.7.27、H22.8.3	血液センター見学会	血液センター	親子(小学生)	県支部と共催で、血液センターの見学会を開催し、献血の普及啓発を行った。	
福井県、 福井県赤十字 血液センター	通年	血液・献血出前講座	各小学校、高等学校	小学生、高校生	血液・献血出前講座を6回開催し、献血の普及啓発を行った。	
福井県赤十字 血液センター	通年	中学生社会体験学習	血液センター	中学2年生	血液センターの実務を体験してもらい、血液事業の普及啓発を行った。	

## 【山梨県】

都道府県名	行年・月日	行いの名称	開催場所	対象	概要	備考
山梨県	H22.7~	献血ルームの見学会	献血ルーム	小・中・高校生	親子で献血ルームを見学頂いた。	
	H22.8~	高校生の職場体験	血液センター・献血ルーム	高校生	職場体験の受け入れを行った。	
	H22.11.5	青少年赤十字高校生活動発表会	血液センター	高校生	参加者100名に対し献血の話と献血推進を行った。	

## 【長野県】

都道府県名	行年・月日	行いの名称	開催場所	対象	概要	備考
長野県	年間	長野県政出前講座	県下各地	県民	本県に在住する20名程度のグループを対象に「身近に感じる献血」をテーマに最新情報や県の施策について、県職員による説明・紹介や意見交換を行う。	

## 【静岡県】

都道府県名	行年・月日	行いの名称	開催場所	対象	概要	備考
血液センター	H22.8	日本ジャンボリー	朝霧高原	小学生・中学生	H23.8.2~8.6に朝霧高原で開催された日本ジャンボリーにおいて、ビデオ上映・パネル展示の上献血についての説明を行った。参加者1007名	
	H22.9~H22.10	献血出前講座	高等学校	高校生	献血実施前に、高校のロングホームルーム時間にビデオ上映し献血の必要性・実施についての説明を行った。	
	H22.6	中学生職業体験実習	静岡県赤血球製剤在庫受持血液センター		市内の中学生3名が、職業体験として血液センターの業務を手伝い街頭でテッシュ配布をし市民に呼びかけをした。	
	H22.11.8~H22.11.9	中学生職業体験実習	静岡県浜松赤十字血液センター		市内の中学生2名が、職業体験として血液センターの業務を手伝い街頭でテッシュ配布をし市民に呼びかけをした。	

## 【愛知県】

都道府県名	行年・月日	行いの名称	開催場所	対象	概要	備考
愛知県	H22.8.18 H22.8.20~H22.8.21	夏休み親子血液教室	愛知県豊橋赤十字血液センター 愛知県赤十字血液センター	小学生の親子	小学生の親子を対象に血液の大切さをDVDや学生ボランティアによるクイズにより学ぶ「血液教室」を開催。	参加者 377名(うち、子ども213名)

## 【三重県】

都道府県名	行年・月日	行いの名称	開催場所	対象	概要	備考
三重県、血液センター	H22.8~H23.2	出前授業	各学校	小学校10校、高校1校	命の大切さから血液、献血をテーマに授業を行った。DVD鑑賞(アンパンマンのエクス)など。	
三重県赤十字血液センター	H23.1.22	血液センター見学会	血液センター	勇気の会・JRCメンバー	命の大切さから血液、献血をテーマに授業を行った。DVD鑑賞(We Can 献血)など。	
三重県、血液センター	H23.7.28	血液センター見学会	血液センター	ヤングミッドサポーター(学生献血ボランティア)	命の大切さから血液、献血をテーマに授業を行った。DVD鑑賞(We Can 献血)、クイズなど。	
三重県赤十字血液センター	H23.8.20	血液センター親子見学会	血液センター	小学生・親	命の大切さから血液、献血をテーマに授業を行った。DVD鑑賞(アンパンマンのエクス)、クイズなど。	

## 【大阪府】

都道府県名	行年・月日	行いの名称	開催場所	対象	概要	備考
大阪府赤十字血液センター	H22.7.29~H22.8.10(計8回)	第15回「献血おもしろゼミナール」	大阪府赤十字血液センター	小学生の親子	献血に関する知識の普及啓発及び血液センターの見学	計1,225名の参加があり、その内39名が献血
大阪府、大阪府赤十字血液センター	H23.1.31	献血出前講座	府立港南造形高校	1・2年生	「献血献血キャンペーン ポスター原画大募集」の応募者を中心に約50名の参加、献血の基礎知識について講義を行った	受講者の中から約30名がH23.2.15・18に献血ルームでのキャンペーンを実施
大阪府赤十字血液センター	H23.2.2~H23.2.4	職業体験学習	大阪府赤十字血液センター	中学生	献血可能年齢前の中学生の職業体験を受け入れることにより、献血基礎知識の向上を図る	参加者8名

【兵庫県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
兵庫県赤十字血液センター	H22.8.4～H22.8.5	夏休み子ども見学会	兵庫県赤十字血液センター	主に小学生高学年	主に小学生高学年の親子を対象に血液センター見学会を開催。血液や献血についてのスライド学習や輸血を受けた患者さんと家族のDVD鑑賞、庁舎見学を実施し、献血を身近に感じてもらうことを目的とする。	
	H22.11.25	献血出前講座	兵庫県立山崎高等学校	高校3年生	12月の学内献血実施前に、血液や献血についてのスライド学習や輸血を受けた患者さんと家族のDVD鑑賞を実施。	
	H22.12.3	献血出前講座	兵庫県立但馬農業高等学校	高校3年生	保健授業の一環で実施。献血や献血についてのスライド学習や輸血を受けた患者さんと家族のDVD鑑賞。	

【奈良県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
奈良県	H23.2.3	職業体験	血液センター	中学生	血液センター見学	参加人数20名

【和歌山県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
和歌山県赤十字血液センター	H22.7.28、H22.8.5	血液管理センター見学ツアー	血液管理センター(京都府福知山市)	小学生とその父兄	往復車内ならびに血液管理センターで献血の勉強と見学を行った。	小学生とその父兄86名
	H22.11.15	献血模擬体験学習	和歌山大学附属小学校	小学生	移動採血車内で献血の模擬体験を実施した。	小学生28名
和歌山県赤十字血液センター	H22.9.15	高校生献血学習	有田中央高等学校	高校生	外部講師を招き、体験談を交えて献血の重要性を語ってもらった。	高校生150名
	H22.10.14	高校生献血学習	日高高等学校	高校生	外部講師を招き、体験談を交えて献血の重要性を語ってもらった。	高校生659名
	H22.12.8	高校生献血学習	耐久高等学校	高校生	外部講師を招き、体験談を交えて献血の重要性を語ってもらった。	高校生70名
	H23.1.26	高校生献血学習	海南高等学校大成校舎	高校生	外部講師を招き、体験談を交えて献血の重要性を語ってもらった。	高校生76名
和歌山県	H22.7.12	保健所職員による献血講習会	日高高等学校中津分校	高校生	献血の大切さについて講習会を実施した。	高校生166名
	H22.9.14	保健所職員による献血講習会	串本古座高等学校・古座キャンパス	高校生	献血の大切さについて講習会を実施した。	高校生200名
	H22.11.30	保健所職員による献血講習会	国際開洋第二高等学校	高校生	献血の大切さについて講習会を実施した。	高校生62名

【鳥取県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
鳥取県赤十字血液センター	H22.7月下旬～H22.8月上旬	献血おもしろセミナー	血液センター等	小中学校児童及び保護者	献血世代を担う子供たちへの献血啓発活動を目的に献血学習会を開催	200組

【島根県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
島根県、鳥取県赤十字血液センター	H22.8.12～6(4日間8回)	夏休み小学生親子血液センター見学体験教室	鳥取県赤十字血液センター	県内小学校5・6年生の親子	親子で血液や献血についての知識、興味や親しみを持ってもらうことを目的に、クイズを交えた講座と施設見学を実施	8回開催し173名の参加
島根県、鳥取県赤十字血液センター	H22.11.13	学生ボランティア研修会	鳥取県赤十字血液センター	鳥取大学献血推進サークルぐっば 松江高专社会福祉部	スライド学習 「八月の二重奏」観賞 施設見学	学生15名参加

【岡山県】

都道府県名	行方年月日	内容	実施場所	対象者	備考	
岡山県	H22.10.5	赤十字出前講座	岡山県立水島工業高等学校	JRC1年生	岡山県支部とタイアップし、赤十字、JRC、献血についての講話を行うとともに、AEDの一次救命処置の実技指導を行った。	受講者数15名
	H22.11.19	赤十字出前講座	倉敷市立玉島高等学校	3年生	岡山県支部とタイアップし、赤十字、JRC、献血についての講話を行うとともに、AEDの一次救命処置の実技指導を行った。	受講者数30名
	H22.12.8	赤十字出前講座	岡山市立後楽館高等学校	3年生	献血の必要性、現状等を説明し献血思想の普及を図った。	受講者数100名
	H22.7.31	LC例会でのゲストスピーチ	岡山ロイヤルホテル	338-Bメンバー	「献血について」という演題で、県内および全国の献血、供給状況を説明するとともに献血推進団体との連携の重要性を説き更なる血液事業への協力を訴求した。	参加者 200名
	H22.9.21	LC例会でのゲストスピーチ	岡山市町村振興センター	岡山ブルーLC	「献血について」という演題で、県内および全国の献血、供給状況を説明するとともに献血推進団体との連携の重要性を説き更なる血液事業への協力を訴求した。	参加者 20名
	H22.11.18	LC例会でのゲストスピーチ	西大寺信用金庫会議室	西大寺LC	「献血について」という演題で、県内および全国の献血、供給状況を説明するとともに献血推進団体との連携の重要性を説き更なる血液事業への協力を訴求した。	参加者 50名
	H22.12.2	LC例会でのゲストスピーチ	ホテルオークラ	岡山ももたろうLC	「献血について」という演題で、県内および全国の献血、供給状況を説明するとともに献血推進団体との連携の重要性を説き更なる血液事業への協力を訴求した。	参加者 30名
	H23.1.18	LC例会でのゲストスピーチ	ビュアリティまきび	1R、2Rメンバー	「献血について」という演題で、県内および全国の献血、供給状況を説明するとともに献血推進団体との連携の重要性を説き更なる血液事業への協力を訴求した。	参加者 70名
	H23.2.2	LC例会でのゲストスピーチ	みよしの	岡山後楽LC、岡山鳥城LC	「献血について」という演題で、県内および全国の献血、供給状況を説明するとともに献血推進団体との連携の重要性を説き更なる血液事業への協力を訴求した。	参加者 38名
	H23.2.8	LC例会でのゲストスピーチ	岡山プラザホテル	岡山マスカットLC、岡山あげはLC	「献血について」という演題で、県内および全国の献血、供給状況を説明するとともに献血推進団体との連携の重要性を説き更なる血液事業への協力を訴求した。	参加者 46名
※上記の他、今後9会場でLC例会でのゲストスピーチを予定している						

【山口県】

都道府県名	行方年月日	内容	実施場所	対象者	備考	
山口県	H22.8.4～H22.8.6	小学生親子見学体験教室	山口県赤十字血液センター	山口市周辺小学生	血液・献血の大切さを学び得る献血につなげる	
	通年	献血出前講座	県内の小・中・高等学校	県内の小・中・高校生	血液・献血の大切さを学び得る献血につなげる	

【香川県】

都道府県名	行方年月日	内容	実施場所	対象者	備考	
香川県	H22.8.3～H22.8.5	小学生親子血液センター見学教室	香川県赤十字血液センター	小学4～6年生親子	献血に関する学習会を開催し、献血の大切さを学んでもらった。また、血液センター施設内の見学も実施。	スライドやビデオを使って説明をすることでより具体的に献血のことを知ってもらうことができた。(子ども90名、保護者64名参加)
	H22.10～H22.12	献血出前講座	県内5小学校	小学4～6年生	希望のあった小学校に血液センター職員が出向き、学校の授業の一環として、献血に関する基礎知識の啓発を実施。	スライドやビデオを使って説明をすることでより具体的に献血のことを知ってもらうことができた。(生徒388名参加)
	H23.2.21	高校における献血出前講座	尽誠学園高校	高校生	希望のあった高校に当課及び血液センター職員が出向き、学校の授業の一環として、献血に関する基礎知識の啓発を実施。	スライドやビデオを使って説明をすることでより具体的に献血のことを知ってもらうことができた。(1校64名参加)

【愛媛県】

都道府県名	行年(年月日)	行名の名称	開催場所	対象	概要	備考
愛媛県	H22.8.24, H22.8.26	小学生親子血液センター見学体験教室	愛媛県血液センター等	小学生及びその保護者	若年層への献血普及の一環として、「愛の血液助け合い運動」期間中である夏季において、献血年齢に満たない小学生を対象にして、思想普及を図るため開催し、血液の働きや血液センターの役割を理解していただき、献血に興味をもっていただくとともに、小学生の夏休みの宿題を応援することを目的とする。	愛媛県赤十字血液センターと共催

【高知県】

都道府県名	行年(年月日)	行名の名称	開催場所	対象	概要	備考
高知県	H22.11.11	献血出前講座	土佐中学校	中学3年生	血液や献血の説明	

【福岡県】

都道府県名	行年(年月日)	行名の名称	開催場所	対象	概要	備考
福岡県	通年	出前授業	各小学校、中学校、高等学校	小学生、中学生、高校生及び教職員	血液のお話、献血啓発DVD上映、献血バス内見学及び説明、血液運搬車両の展示	
	通年	施設見学	九州血液センター	小・中学生、献血推進協議会等各種団体	献血～供給までの映像上映及び説明、施設内見学(検査・製造)	

【佐賀県】

都道府県名	行年(年月日)	行名の名称	開催場所	対象	概要	備考
佐賀県	下半年	献血出前教室	高等学校内(実施校数4高等学校)	県民	献血に協力を求めるため、血液センター職員が献血の必要性について説明した。	新聞広告で対象者を募集した。参加者数155名

【長崎県】

都道府県名	行年(年月日)	行名の名称	開催場所	対象	概要	備考
長崎県	H22.9.8	福田小学校育友会役員による献血研修	長崎県赤十字血液センター	育友会役員4名	献血推進のための勉強会及びセンター見学	休日における商業施設献血とタイアップした育友会献血の実施

【熊本県】

都道府県名	行年(年月日)	行名の名称	開催場所	対象	概要	備考
熊本県	H22.7.29～H22.7.31	小学生献血セミナー「のぞいてみよう赤十字」～ハービット探検隊～	血液センター	小学生・保護者	夏休みの期間に、小学生のうちから献血に親しんでもらえるよう、親子で血液センターの見学体験教室を開催した。	

【大分県】

都道府県名	行年(年月日)	行名の名称	開催場所	対象	概要	備考
大分県	H22.4～H23.3	献血推進リーダーによる出前講座	小・中・高等学校	小・中・高等学校生	学校薬剤師や各保健所・市町村献血担当者による高校等での出前講座の実施。	15校で開催し、生徒及び教諭に対し、献血の必要性を訴えることができた。

【宮崎県】

都道府県名	行年(年月日)	行名の名称	開催場所	対象	概要	備考
宮崎県						例年、行っていた夏休み親子教室が口蹄疫の影響で中止になった。

## 【鹿児島県】

都道府県名	行事年月日	行事名称	開催施設	対象	概要	備考
鹿児島県	H22.5～	血液教育事業	各中学校	中学生	献血可能年齢周辺の中学3年生を対象に、血液に関する正しい知識と責任ある献血の重要性を認識させるため、県薬剤師会に委託し、学校薬剤師による講義を行った。	
鹿児島県、鹿児島県赤十字血液センター	H22.4～	献血出前講座・献血講座	各高校・専門学校・血液センター等	小学生～大学・専門学校	「献血のしくみ」「アンパンマンのエキス」のDVDを見ることで献血の重要性と命の大切さを理解し献血への導入を図る	
鹿児島県赤十字血液センター	H22.4～	職場体験学習の受け入れ	血液センター及び献血ルーム	中学生	献血の重要性や命について学び、献血の呼び掛けを行い献血協力をしてもらえたというボランティアの充実感を体験させ、将来への献血導入を図る。	
	H22.8.19～H22.8.21	楽しく学ぼうキッズ献血	血液センター	小学生と保護者	「献血のしくみ」「アンパンマンのエキス」を見たり施設見学や献血模擬体験(キッズ献血)と「命の授業」など実施し、将来の献血導入を図る	

## 【沖縄県】

都道府県名	行事年月日	行事名称	開催施設	対象	概要	備考
沖縄県	通年	献血教室	県内高等学校	高校生	小児ガン患者の実話を基にしたドキュメンタリー映像を放映した。また、パワーポイントにて血液の知識、献血の重要性、沖縄県内の血液確保の現状等を説明し、校内での献血及び将来にわたる継続的な献血への協力をお願いした。	
	H22.7～H22.12	職場体験学習	血液センター、献血ルーム等	県内中学校、高等学校	小児ガン患者の実話を基にしたドキュメンタリー映像を放映した。また、パワーポイントにて血液の知識、献血の重要性、血液確保の現状、血液センター業務の概要を説明し、将来にわたる継続的な献血への協力をお願いした。併せて、献血の受入、血液製剤の製造・保管・供給の実際の業務体験を実施した。	
	H22.8～H22.9	施設見学	血液センター	小学生、高校生	映像・パワーポイントにて血液の知識、献血の重要性を説明し、継続的な献血への協力をお願いした。また、血液の製造工程、保管庫の見学を実施した。	

## ④大学等における献血の推進及び将来の医療従事者を目指す者に対する普及啓発の取組

## 【北海道】

都道府県名	行事年月日	行事名称	開催施設	対象	概要	備考
北海道	H22.5.18	献血についての講話	看護学校講堂	北海道医療センター附属札幌看護学校	新入生を対象とした献血講話と献血の必要性が視覚でできるビデオで献血を理解していただき、今後の協力を結び付けることを目的としている	この看護学校は札幌・血液センターの近隣にあることから、血小板成分献血の緊急的な要請にも毎回、多くの協力がある。(⑧の内容にも該当する)
	H22.4.16	新人研修における献血講話について	アインファーマシー研修会場	新入職員	研修の一環として、研修会場へ出向き献血の講話を実施。また、併せて施設見学、献血の協力をすることで、より理解度が増す。	献血協力については、非常に協力的である。
	H22.10.23～H22.10.24	札幌合同大学祭への広告掲載	大通7丁目会場(札幌市中央区)	若年層	学生献血推進協議会(大学・各種専門学校生)が主となり会場で展示ブースを設営し献血についても啓発	結果的には多くの方が来場したため、幅広い年齢層に対して啓発ができた

【岩手県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	備考
岩手県	通年	大学・専門学校への献血バスの配車	各大学、専門学校	学生	大学(医学部、薬学部、看護学部等)献血の実施

【青森県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	備考
青森県	H22.4.1～H23.3.31	弘前大学医学部研修会	弘前献血ルーム	実習生	医療従事者を目指す学生に血液事業の現状や青森県の献血者数や供給本数を認識してもらい、献血への理解を深めてもらった。
	H22.4.1～H23.3.31	青森県学生献血推進連絡会	県庁・血液センター	学生ボランティア	サマー献血・クリスマス献血キャンペーンの企画及び学校献血時に呼びかけを行い、同世代(若年層)の方に献血の協力を求めた。

【宮城県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	備考
宮城県赤十字血液センター	H22.4.2～現在まで36会場で開催	学生グループ献血	各大学、専門学校献血会場	学生	各大学、専門学校等での献血実施の際に「4名1組で献血申込みをしたグループ」に対して記念品を贈呈し、新規献血者でも気軽に協力できるよう友人同士親い合せて献血できる環境の一環として実施 移動採血における、大学、専門学校等の学生献血が、前年実績より119%(417人)増加した

【秋田県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	備考
秋田県(赤十字血液センター)	H22.11.14	献血講話	ユースパル(会議室)	大学生	秋田県の献血状況をスライドを用いて説明し、「八月の二重奏」を上映した。
秋田県	H23.1.1～H23.2.28	「はたちの献血」キャンペーン	県内各所	県民	啓発ポスターを各保健所、市町村等に配布し、庁内にも掲示した。

【山形県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	備考
山形県	通年	学生献血協力サークルへのメール配信	山形市内の大学	大学生	大学における既存サークルの代表者へ献血者不足等の情報提供及び献血希望者の募集メールを血液センターで配信。学生献血者の増加を図った。
	通年	医学部の学生に対する、血液センターでの研修	血液センター、献血ルーム	大学生(4～5年生)	医学部学生に血液の流れ、輸血について、副作用についてなどを講義する。 H22は100名(血液センターで実施)

【福島県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	備考
福島県	H22.6.9～H23.3.16	公立大学法人福島県立医科大学第5学年BSLプライマリーコース実習	福島県赤十字血液センター	医学部第5学年生	献血から輸血用血液に至るまでのプロセスを理解してもらうことにより、献血の意義並びに適正使用にかかる意識の醸成を意図した企画
	H23.1.24	福島東桜高校看護専攻科施設見学	福島県赤十字血液センター	看護専攻科第1学年生	輸血用血液製造のプロセス等を知ることにより将来のコミュニティ医療従事者としての献血に対する意識の醸成を意図した企画 生徒計20名、引率者2名

【茨城県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	備考
茨城県	H22.11.13	学内キャンペーン	茨城大学	学生	学園祭で実施し、パネル展示や抽選会等を行った。
	H22.6～H23.2	推進キャンペーン	各短大及び大学等	学生	大学等の学域献血で実施、粗品を配布 献血者 65名 水戸東ライオンズクラブの協力 12校で24回実施

【群馬県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	備考
群馬県	H22.8.17	群馬県インターンシップ	群馬県薬務課	県主催インターンシップ事業に参加した県内大学薬学部4年生	県で実施しているインターンシップにおいて、医薬品である血液製剤の供給体制について説明することにより、将来学生達が薬剤師になった際、自らも現場で取り扱うこととなる血液製剤の貴重性について知ってもらおう。

## 【千葉県】

都道府県名	実施年月日	事業名	実施場所	対象者	概要	備考
千葉県	年間	千葉県学生献血推進協議会会員募 集	各献血ルーム・大学等学内献血会場	16歳から若年層を中心 にした幅広い年代	学生ボランティア募集用のパンフレットを作成して、大学 献血実施時に配布。また各関係機関にポスターの掲示 をお願いした。	新規会員20名程度
	年間	400mL強化キャンペーン	各大学・短大・専門学校	大学・短大・専門学校	学内献血時において記念品を用意し事前PRを行っての 献血実施。	
	年間		各大学・短大・専門学校		県内各大学及びJRC採用校に血液センターを通じ協力 依頼をする。	

## 【東京都】

都道府県名	実施年月日	事業名	実施場所	対象者	概要	備考
東京都	H22.4～H22.6、 H22.10～H22.12	グループ献血	各大学の献血会場	大学生・短大生	若年層への献血啓発として、400mlグループ献血3人1組 を献血会場当たり6組として推進し、献血者の増強を図 る。	短大・大学の12月中旬までの実 施で、受付者数29,000人以上
	H22.4.1～随時	施設見学	東京都赤十字血液センター	若年層(高校・短大・専門学 校・大学)	若年層への献血啓発事業として実施。検査・製剤・供給 部門の所内見学等を実施し、将来の献血者育成及び献 血思想の普及につなげることを目的とする。	医学部学生・専門学校等52件392 名

## 【神奈川県】

都道府県名	実施年月日	事業名	実施場所	対象者	概要	備考
神奈川県赤十字 血液センター	H22.11.19～H23.2月末	献血推進映画「八月の二重奏」DVD の試写会開催(供覧)依頼	麻布大学、神奈川県立保健福祉大 学、神奈川工科大学、神奈川大学、 関東学院大学、北里大学、相模女子 大学、多摩大学、田園調布学園大 学、東京農業大学、東洋英和女学院 大学、日本大学、明治学院大学、神 奈川県青年赤十字奉仕団(例会)、横 浜市立大学医学部学生赤十字奉仕 団(例会)、東海大学湘南校友会ライ フセービングクラブ赤十字奉仕団(例 会)	ポラフェスタ参加大学・学生 と、学内の一般学生	献血推進映画「八月の二重奏」のDVDをより多くの方に 鑑賞いただくため、ポラフェスタ参加大学生等318人は もちろん、同じ大学に通う他の大学生を含め、試写会や 供覧を依頼している。(平成23年2月末集計予定)	

## 【新潟県】

都道府県名	実施年月日	事業名	実施場所	対象者	概要	備考
新潟県	随時	大学、専門学校等への献血バスの配 車	大学、専門学校等	大学生、専門学校生等	栄養士が同行し、栄養指導を行った。	
		献血普及講演会、献血ルーム見学会			将来の献血を支える若年層へ献血知識の普及啓発を 図った。	

## 【富山県】

都道府県名	実施年月日	事業名	実施場所	対象者	概要	備考
富山県	H22.4、H23.1	大学生への働きかけ	県内大学	県内大学生	入学オリエンテーション時に献血への理解と協力を働き かけた。また、献血啓発用のリーフレットを配布した。	県内4大学、延べ約700名の新 入生へ呼びかけ。
	H22.4～H22.6	看護専門学校・短大で新入生の献血 説明会の実施	県内大学、短大、専門学校	県内大学、短大、専門学 校生	献血の現状説明と協力をお願いした。	県内5校、約350名の新入生へ 説明した。
	H22.4～H23.3	医学部学生の見学会(5年生)	血液センター・献血ルーム	富山大学医学部	献血の概要説明	96名の学生に説明し成分献血 の協力も得た。
	H22.4～H22.11	3人で一緒に献血キャンペーン	富山大学	富山大学生	3人以上のグループで献血協力者に粗品の進呈	8回実施して54グループ、受付 180名 対前年比106.0%

## 【石川県】

都道府県名	実施年月日	事業名	実施場所	対象者	概要	備考
石川県	H22.10.23、H22.10.31	大学祭での献血啓発・推進	県内大学2校	大学生	県職員及び血液センター職員が献血啓発資材を配布 し、献血の必要性を訴える。	当日は献血会場を設け、計127名 の献血協力があった。
日赤石川県支部 石川県赤十字血液 センター	H22.10.31、H22.12.11	献血推進映画「八月の二重奏」上映 会	県内大学2校	大学生	日赤制作の映画で上映会を開催し、輸血を必要とする 患者さんへの理解を深めてもらう。	2会場で140名が参加した。

【福井県】

都道府県名	行年・月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
福井県赤十字血液センター	H22.9～H22.10	2010学園祭献血	各大学、短期大学	大学生、短期大学生	県内の各大学・短大に献血バスを配車し、福井県学生献血推進連盟を中心とした学生ボランティアによる啓発活動を行った。	
	H22.4.6～H22.4.9、H22.4.12	卒後臨床研修医オリエンテーション(血液事業について)	血液センター	臨床研修医(1年次)	オリエンテーションを開催し、血液事業の周知を行った。	

【山梨県】

都道府県名	行年・月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
山梨県	H22.7.29	山梨大学の公開授業	山梨大学医学部	山梨大学医学部受講生	山梨大学の公開授業(講義90分)へ参加し、血液の説明を行った。	
	H22.10～	各大学の学園祭へ参加	各大学	大学生	学園祭で献血ブースを設置しパネル展示とDVDの上映を行った。	
	H22.4～	県内大学の献血実施	各大学	大学生	県内7大学で献血を行った。	

【長野県】

都道府県名	行年・月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
長野県	H22.6.4小諸看護専門学校 H22.8.29須坂看護専門学校 H22.9.25県看護大学 H22.10.22長野病院附属看護学校 H22.10.23佐久大学 H22.10.23諏訪東京理科大学 H22.10.24飯田女子短期大学	学園祭での献血	各校	来場者	学園祭に移動採血車を配車し、献血に併せて啓発活動を行った。	

【岐阜県】

都道府県名	行年・月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
岐阜県	H22.4.16	献血に関する講義	岐阜厚生看護専門学校	学生	看護専門学校の学生に対し、保健所担当者と岐阜県赤十字血液センター職員が献血に関する講義を行った。	
	年間通じて22回 (1年生12回、5年生10回)	医学部学生に対する講義	岐阜県赤十字血液センター(母体)	岐阜大学医学部学生 (1年生、5年生)	医学部の学生に対し、献血や血液製剤に関する講義を行い、血液センターの見学を行った。	血液センター見学の後、希望者には実際に献血をしていただいた。

都道府県名	行年・月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
血液センター	H22.5～H22.8	学生サマー献血キャンペーン	県内3箇所	学生献血ボランティア	大学生・専門学校生を中心とした献血ボランティア主催のキャンペーンを行った。	
	H22.10～H22.12	全国学生クリスマス献血キャンペーン	県内6箇所	学生献血ボランティア	大学生・専門学校生を中心とした献血ボランティア主催のキャンペーンを行った。	

【三重県】

都道府県名	行年・月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
三重県赤十字血液センター	年中	大学祭・定期献血	各大学	大学生・職員	ボランティアサークルのメンバーに啓発の協力を依頼し、大学祭等で献血広報映画の上映を行った。	

【滋賀県】

都道府県名	行年・月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
滋賀県	H22.10.24	若鈴祭	滋賀医科大学	医大生・一般	献血推進広報映画「八月の二重奏」上映会	

【京都府】

都道府県名	行年・月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
京都府	H22.9～H23.2	健康づくりアドバイス事業	府内大学等	府内献血実施大学生等	献血会場です比量等で採血できなかった等の者を対象に、栄養相談を実施	

## 【大阪府】

都道府県名	行われた年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
大阪府赤十字血液センター	・H22.4.20 ・H22.8.8 他33回	血液センター見学会	大阪府赤十字血液センター	医療関係の大学生及び専門学生	血液センター見学会を積極的に招致し、献血に関する知識向上を図る	実施実績:27校、35回、959名
	・H22.7.4 ・H22.8.14 ・H22.9.18 ・H22.12.18、H22.12.19、H22.23 ・H23.1.15	・七夕献血キャンペーン ・サマー献血キャンペーン ・オータム献血キャンペーン ・クリスマス献血キャンペーン ・はたちの献血キャンペーン	・ヨドバシカメラ梅田東側歩道上他1箇所 ・ヨドバシカメラ梅田東側歩道上他1箇所 ・ヨドバシカメラ梅田東側歩道上他1箇所 ・HEP FIVE前他6箇所 ・HEP FIVE前他1箇所	府民	大阪府学生献血推進協議会が主催し、街頭での献血の呼びかけ	
	H23.3.15	血液管理センター見学会	血液管理センター	大阪府学生献血推進協議会メンバー	血液管理センターについて説明を受けることにより、血液事業の内容についての知識を深める	参加者36名
	H23.3.20	近畿管内学生献血推進リーダー研修会	大阪府赤十字血液センター	近畿管内学生献血推進協議会リーダー	学協協のリーダーに血液事業についての研修を行うことにより、各府県内の学生献血の強化を図る	参加者32名

## 【兵庫県】

都道府県名	行われた年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
兵庫県赤十字血液センター	H22.12	献血推進広報映画「八月の二重奏」上映会	神戸薬科大学	学生他	日本赤十字社作成の広報映画「八月の二重奏」の上映。	

## 【奈良県】

都道府県名	行われた年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
奈良県	H22.10.4～H22.10.5	健康相談	天理大学	大学生	低比重者等に対する健康相談を実施し、再度献血にご協力いただくよう促す。	参加人数2名
	H22.10.23	健康相談	奈良佐保短期大学	短大生	低比重者等に対する健康相談を実施し、再度献血にご協力いただくよう促す。	参加人数3名
	H22.10.24	健康相談	畿央大学	大学生	低比重者等に対する健康相談を実施し、再度献血にご協力いただくよう促す。	参加人数3名
	H22.10.26	健康相談	近畿大学農学部	大学生	低比重者等に対する健康相談を実施し、再度献血にご協力いただくよう促す。	参加人数4名

## 【和歌山県】

都道府県名	行われた年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
和歌山県赤十字血液センター	H22.12.2、H22.12.3	講演や献血実施時にパネル等の掲示	和歌山大学	大学生	献血会場にてパネルを掲示、啓発物品を配布し献血及び複数回献血の啓発を行った。	
	H22.12.6	和歌山県県学生献血推進協議会(以下「学推」という)の献血推進活動について	和歌山赤十字看護専門学校	和歌山赤十字看護専門学校生	講演と学推献血活動を紹介することにより、若者の献血活動に対する理解と協力を求めた。	

## 【鳥取県】

都道府県名	行われた年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
鳥取県赤十字血液センター	H22.4.1	研修医等のオリエンテーション	鳥取大学医学部	研修医	献血に対する理解を深めるとともに血液の適正使用を図ることを目的とする。	

## 【島根県】

都道府県名	行われた年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
島根県、島根県赤十字血液センター	H22.4.21、H22.6.16、H22.7.14、H22.10.11、H23.1.19	島根大学学内献血の実施	島根大学	島根大学学生・職員	島根大学献血推進サークルぐっばの協力を得て年間5回の学内献血を実施し、計203名の400mL献血の協力をいただいた。	

【岡山県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
岡山県	H22.7.1	血液センター見学研修	岡山県赤十字血液センター	岡山赤十字看護専門学校	得志を担う医療従事者として、血液や献血について一層の知識を習得いただくため、当センター所長の講義と施設内の見学をおこなった。	研修に参加いただくことにより新たな知識が身についた。参加者(41名)
	H22.10.29	血液センター見学研修	岡山県赤十字血液センター	岡山労災看護専門学校	得志を担う医療従事者として、血液や献血について一層の知識を習得いただくため、当センター所長の講義と施設内の見学をおこなった。	研修に参加いただくことにより新たな知識が身についた。参加者(44名)
	H23.3.18	血液センター見学研修	岡山県赤十字血液センター	岡山済生会看護専門学校	得志を担う医療従事者として、血液や献血について一層の知識を習得いただくため、当センター所長の講義と施設内の見学をおこなった。	研修に参加いただくことにより新たな知識が身についた。参加者(55名)

【広島県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
広島県	H22.8.ほか	県大学献血推進協議会	街頭・大学等の献血会場	大学生	学生ボランティアによる献血呼びかけ	県は広報で支援

【山口県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
山口県	通年	山口県学生献血推進協議会	山口県赤十字血液センター	学生役員	各大学の学内献血の推進等	
	H23.5、H23.10	学生セミナー	市内ホテル・山口県赤十字血液センター	県内の大学生	血液・献血の大切さ及び社会的責任等を学び献血やボランティアにつなげる	

【徳島県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
徳島県	H22.4月上旬	新入生への献血パンフレットの配布	各大学、専門学校	大学新入生等	大学及び専門学校の新入生に献血パンフレットを配布し、献血に対する理解と協力を呼びかける。	
徳島県赤十字血液センター	H22	大学等での献血	各大学、専門学校	大学生等	大学キャンパス献血時に、献血啓発用パネルの掲示を行ったり、献血実施前に献血推進DVDの放映会を実施した。	

【香川県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
香川県	H22.8.15	学生献血推進協議会主催キャンペーン	イオン高松ショッピングセンター	学生献血推進協議会	夏場の血液不足に対応するため、大学生献血ボランティアが街頭キャンペーンを実施。	広く県民のみならず、主催者側である学生への献血意識の啓発もできた。
	H22.12.23	クリスマス献血キャンペーン	ゆめタウン高松	学生献血推進協議会	冬場の血液不足に対応するため、大学生献血ボランティアが街頭キャンペーンを実施。献血協力者へはクリスマスケーキをプレゼントした。	広く県民のみならず、主催者側である学生への献血意識の啓発もできた。

【愛媛県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
愛媛県	常時	大学生(特に医学生)での献血	大学等の教育機関	学生	大学等の移動採血車献血を実施することで、実際に献血をしていただき、献血の意義を理解してもらう。	

【高知県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
高知県	H22.10.10	学園祭	高知大学	大学生		
	H22.10.16、H22.10.17	学園祭	高知工科大学	大学生		

【福岡県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
福岡県	通年	福岡県学生献血推進協議会例会	血液センター施設	献血推進協議会学生	会議等を通じて普及啓発	
	H22.8	研修会	福岡県社会教育センター	九州管内関係学生	事例発表、意見・情報交換等	

## 【佐賀県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象者	備考
佐賀県	各大学での献血実施年2回	学内献血	各大学構内	一般大学生	4月と12月に実施している。毎回300名以上の協力有り
	県内、看護専門学校への血液センター研修受入れ	看護学生研修会	佐賀県赤十字血液センター	佐賀県立看護学生	現在、血液センターが実施している検査内容等に関する説明
	佐賀大学医学部学生に対する血液センター研修受入れ	医学部学生研修会	日本赤十字社九州血液センター	佐賀大学医学部学生	現在、血液センターが実施している検査内容等に関する説明及び体験学習の実施

## 【長崎県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象者	備考
長崎県	H23.3.30～H23.3.31	オリエンテーション時の献血啓発及び献血体験	こころ医療福祉専門学校	学生	医療従事者を狙う学生に対する献血啓発及び必要性についてのアピールと献血体験(オープン採血) 献血初回者が多い。

## 【熊本県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象者	備考
熊本県	H22.5.15～H22.5.16	熊本県学生献血推進協議会リーダー研修	県立あしきた青少年の家	大学生	熊本県学生献血推進協議会に対し、若年層の献血への関心を深めるための普及啓発事業を支援し、育成を図るための研修会を開催した。

## 【大分県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象者	備考
大分県学生献血推進協議会	H22.5～H23.3	学生献血推進協議会研修会及び啓発キャンペーン	各学校及びキャンペーン会場	医学部学生等	学生献血推進協議会の研修や活動を通じて、献血について学習。
大分県赤十字血液センター	H22.4.18	学内献血事前説明会	大分大学	学生	学内献血の実施日前に体育会や文化会の責任者に集まっていただき、献血の重要性や現状を説明し、学内献血の協力者を増やしていただいた。 40名が参加。
	H22.7.2	献血研修会	豊西准看護学校	学生	学生に講義をとおして献血の重要性を理解していただいた。
	H22.11.4	学内献血事前説明会	大分大学	学生	学内献血の実施日前に体育会や文化会の責任者に集まっていただき、献血の重要性や現状を説明し、学内献血の協力者を増やしていただいた。 40名が参加。

## 【宮崎県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象者	備考
宮崎県	H22.5	献血に係る講義	県立看護大学	学生	献血に対する正しい知識のための講習
	月2回	学生研修	宮崎大学医学部	学生	血液事業全般に関する研修

## 【鹿児島県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象者	備考
鹿児島県 鹿児島県赤十字血液センター	H22.4～	学生献血推進協議会の支援			会議等参加による助言・指導、活動費等の支援等
鹿児島県赤十字血液センター	H22.4～	学内献血の推進	各大学及び専門学校	10代～20代	献血実施に向けた献血講座の開催等又学生献血推進協議会のキャンペーンの企画による学生勧誘

## 【沖縄県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象者	備考
沖縄県	通年	献血教室	大学、各種専門学校	大学生、各種専門学生	映像・パワーポイントにて血液の知識、献血の重要性を説明し、学内献血等で継続的な献血への協力をお願いした。
	H22.10.9 H22.12.5	施設見学	血液センター	沖縄県学生献血推進協議会 クリスマス献血キャンペーン参加 学生代表	映像・パワーポイントにて血液の知識、献血の重要性を説明し、継続的な献血への協力をお願いした。また、血液の製造工程、保管庫の見学を実施した。

⑤年齢別人口に占める献血者の割合が低い傾向にある50～60歳代を対象とした普及啓発の取組

【青森県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
青森県	H23.2.26～H23.3.31	シニア献血キャンペーン	全施設	55歳～69歳の献血依頼可能者	55歳～69歳までを対象に採血基準の変更のお知らせをすともにも献血記念品の引換券を同封し、献血した方に記念品を用意した。	4,702名に封書で通知し、570名の協力があった。

【宮城県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
宮城県						全年代に向けて、ホームページ・ラジオ等により普及啓発しているため、この年代を対象とした取組を特別に行っていない

【秋田県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
秋田県(赤十字血液センター)	通年			50歳以上	特に成分献血が可能な方へ電話による献血協力を依頼した。	

【群馬県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
群馬県	H22.8.26	出前なんでも講座	高崎市総合福祉センター		福祉センターが主催する勉強会に出席した市民	薬務行政に関する講座の中で、血液事業に関する講話を行った。
	H22.12.2	出前なんでも講座	伊勢崎市赤塚公民館		公民館が主催する勉強会に出席した市民	薬務行政に関する講座の中で、血液事業に関する講話を行った。

【新潟県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
新潟県	H22.5.28	秋葉区献血推進協議会総会	新潟市秋葉区役所		秋葉区献血推進協議会会員	総会開催時に献血のことについて新潟県内の状況や最近の話題を交えて説明した。
	随時	AM民放ラジオによる定期的な献血情報の提供				リスナーの年齢層が高いAM民放ラジオで定期的に献血情報の提供を行った。

【富山県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
富山県	随時	はがきでの依頼(原料血漿確保)				50歳以上の献血者を対象に、葉書による献血への協力依頼した。

【石川県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
石川県赤十字血液センター	H22.7	64歳到達者への献血のお願い	石川県赤十字血液センター母体	60～64歳までに献血経験がない方	対象者に案内葉書を送付し、献血基準についての理解を促す。	該当者321名にかもめーを送付し、12名の献血協力があった。

【福井県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
福井県赤十字血液センター	H22.8.8、H23.2.13	北横地壮年会主催 地域献血	地区ふれあい会館	地域住民	地域の壮年会へ献血の協力依頼を呼びかけた。	

【山梨県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
山梨県	H22.8.24	ライオンズクラブ合同会議	甲府市	県内ライオンズクラブ役員	ライオンズクラブ会員への献血協力依頼	

【静岡県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
血液センター	H23.1～H23.3	献血要請ハガキ	各献血会場	54才～64才の献血経験のある方	H23.1月・3月に対象者758名に献血依頼要請ハガキを送付。	

## 【和歌山県】

都道府県名	実施年月日	活動の名称	実施場所	実施者	実施内容	備考
和歌山県赤十字血液センター	H22.7.18	献血講演	和歌山市野崎地区会館	野崎赤十字奉仕団員	輸血と献血の現状と今後の若年層と中年層の献血普及の在り方について講演を行った。	25名
	H22.10.29	献血講演	天理教和歌山教務支庁	各分教会代表者	輸血と献血の現状と今後の若年層と中年層の献血普及の在り方について講演を行った。	15名
	H22.11.27	献血講演	和歌山県慶風高校	和歌山アゼリアロータリークラブメンバー	輸血と献血の現状と今後の若年層と中年層の献血普及の在り方について講演を行った。	30名

## 【鳥取県】

都道府県名	実施年月日	活動の名称	実施場所	実施者	実施内容	備考
鳥取県赤十字血液センター	H22.9、H22.12	献血協力を周知	ハガキの送付	50才～64才を対象	50代～60代の献血者が少ないため、献血への協力を目的とする。	

## 【広島県】

都道府県名	実施年月日	活動の名称	実施場所	実施者	実施内容	備考
広島県	随時	献血啓発リーフレット		地域献血組織	献血に関するリーフレットの配布	

## 【山口県】

都道府県名	実施年月日	活動の名称	実施場所	実施者	実施内容	備考
山口県	通年		各献血場所	50・60代献血者	DM、電話要請を行い、献血を要請	

## 【愛媛県】

都道府県名	実施年月日	活動の名称	実施場所	実施者	実施内容	備考
愛媛県	常時	年配者への献血	献血会場	一般	企業やイベントの献血巡回時に、これまで啓発していなかった年配の方へより一層の普及啓発を図る。	

## 【福岡県】

都道府県名	実施年月日	活動の名称	実施場所	実施者	実施内容	備考
福岡県	H23.2	献血案内・要請	対象者に文書郵送	県内60～64歳の方(59歳まで献血経験あり)約11,000人	最高年齢69歳まで献血に協力をしていただくことを目的に、60～64歳に献血をしていただくため、献血への協力について、疾病別使用状況、献血の基準等を掲載した文章を送付	

## 【佐賀県】

都道府県名	実施年月日	活動の名称	実施場所	実施者	実施内容	備考
佐賀県	過去3年以上献血されていない方へ献血依頼	ダイレクトメールによる広報	献血プラザさが	50～60歳代	50～60歳代への献血啓発を呼び掛ける。	

## 【大分県】

都道府県名	実施年月日	活動の名称	実施場所	実施者	実施内容	備考
大分県	H22.10～H22.11	保健所ブロック別献血推進検討会	各保健所	行政、血液センター、ライオンズクラブ会員	60～60歳代の方々に対する、啓発方法を検討。	健康教室や医療機関での啓発が有効との意見があった。

## 【宮崎県】

都道府県名	実施年月日	活動の名称	実施場所	実施者	実施内容	備考
宮崎県	通年		ダイレクトメールでの呼びかけ			前年比117%増

## ⑥地域の特性に合わせた採血所のイメージ作りや移動採血車の機能面の充実等の、なお一層のイメージアップへの取組

## 【岩手県】

都道府県名	実施年月日	活動の名称	実施場所	実施者	実施内容	備考
岩手県	H23.3	献血ルームのリニューアル	もりおか献血ルーム「メルシー」	県民	フロア拡張、ロゴマーク制定	

【宮城県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
宮城県	H22.6.1~H22.8.31(募集) H22.11.29(表彰式) H23.2.18~H23.3.18(ラジオCM放送)	愛の献血70字ストーリー募集事業	・県内の高等学校、市町村、保健所及び献血ルーム・バス等に応募用紙及びポスターを配布 ・インターネット、郵便等を利用(募集) ・「献血者に感謝する集い」で表彰	若年層を中心に幅広い年代	献血思想の普及と献血意識の向上を図るため、「献血」に関するショートストーリー仕立てにした作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、入賞作品によるCM広報を行う	
宮城県赤十字血液センター	通年	採血所の設備の充実	社の都献血ルームAOBA	全年代	インターネット設備・マッサージ機器をはじめ、ガーデンカフェを楽しむことのできるテラスなどを設けている	

【秋田県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
秋田県	H22.4.8、H22.6.2、H22.7.23、 H22.8.18、H22.10.27、 H22.12.20、 H23.1.11、H23.3.11	庁内献血	県庁内	職員	移動採血車による献血の実施の際、庁内放送によって協力を依頼した。	
秋田県(赤十字血液センター)	H22.11.1	血液センターリニューアルオープン	血液センター	主として30歳以上の方	地域の緑のイメージを取り込んだ内装とし、キッズコーナーを充実させ、ベビーベッドも配置した。	

【福島県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
福島県	H22.10	献血受付車の導入	街頭献血を主とした移動採血時に使用	献血者	冬季における献血者への寒さ対策など、献血環境の改善等を目的とした	

【群馬県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
群馬県赤十字血液センター	H22.10.24 H22.12.26	地元プロスポーツチーム等協力による献血応援スペシャルマッチ開催	地元プロスポーツチーム等のホームスタジアム	若年層を中心とする幅広い年齢層	10月24日地元プロサッカーチームの公式戦を献血応援スペシャルマッチとして、また12月26日に地元ジャパングビートップリーグ参戦チームの公式戦において献血応援キャンペーンを実施した。	
	H22.5	地元プロスポーツチーム等協力による献血推進ポスター作製		若年層を中心とする幅広い年齢層	5月に地元日本プロサッカーリーグ(J2)チームおよび地元ジャパングビートップリーグ参戦チームの協力により献血推進ポスター2種類を作製した。	
	H22.8.28	地元ジャパングビートップリーグ参戦チーム選手による握手・サイン会	採血出張所	若年層を中心とする幅広い年齢層	採血出張所のイメージアップと周知を目的として、地元ラグビーチーム選手による握手・サイン会を実施した。また、当日は、選手が献血にも協力し、献血イメージアップに協力をお願いした。	

【埼玉県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
埼玉県	H22.10.9	大宮献血ルームウエストオープニング	県内	若年層を中心に幅広い年代	新規の大宮献血ルームウエストのオープニングに関するポスターを関係機関に配布した。	

【千葉県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
千葉県	年間		献血ルーム	献血者	献血ルームにおいて、健康増進に配慮したリラクゼーションサービスを行い、献血ルームの更なる献血環境の向上に努める。	

【東京都】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
東京都	H22.4.1~	環境改善	献血会場・献血ルーム	幅広い年代	充足感・満足感のある環境を醸成するため、プロジェクトを設けて機材及び広報資料の見直しを図る。	

【新潟県】

都道府県名	実施年月日	行事の名称	開催場所	対象	概要	備考
新潟県	H22.7.28~H23.3.21	テレビ媒体による献血のPR		一般	献血に対するイメージを向上させ、幅広い世代から献血にご協力をいただくことを目的とし、番組に出演しPR等を行った。	番組内でのPR以外にもPRすることができ、冬期における献血者の安定確保に貢献した。

## 【富山県】

都道府県名	行年(年月日)	行事の名称	開催場所	対象	備考
富山県	H22.4~H23.3	イベントで献血の待ち時間に、雑誌閲覧及びビデオ鑑賞の場の提供(献血バス)	ショッピングセンター	献血者	「ゆきみ」のDVD放映 待合場所で寒暖の影響を受けなければかりか献血啓発に有効であった。

## 【石川県】

都道府県名	行年(年月日)	行事の名称	開催場所	対象	備考
石川県赤十字血液センター	H22.4~H23.3	季節に合わせた飾り付け	石川県赤十字血液センター母体	一般献血者	季節に合わせて手製キルトの飾り付けを行い、献血者を楽しませる。
	H22.4~H23.3	地元バスケットボールチームとのタイアップ	献血ルームラプロ	一般献血者	石川ブルースパークスの選手サインとポスターを掲示する。
	H22.4~H23.3	献立レシピの掲示	献血ルームラプロ	一般献血者	栄養士監修のもと、健康に役立つ献立レシピを20例程紹介する。

## 【福井県】

都道府県名	行年(年月日)	行事の名称	開催場所	対象	備考
福井県赤十字血液センター	H22.4.5	献血ルームのリニューアル	血液センター	献血者、県民	血液センター内の献血ルームをリニューアルし、血液センターの外壁に献血ルームの名称を掲示する等、遠くからでも分かりやすい施設とした。

## 【山梨県】

都道府県名	行年(年月日)	行事の名称	開催場所	対象	備考
山梨県	H23.7~	新検診車の整備	各献血会場	全献血者	老朽化した検診車を更新し、受付・接遇場所を設け環境整備を図る。

## 【岐阜県】

都道府県名	行年(年月日)	行事の名称	開催場所	対象	備考
岐阜県	H22.12.6	岐阜県赤十字血液センター(母体)のリニューアル	岐阜県赤十字血液センター(母体)	献血者	岐阜県赤十字血液センターの待合室、採血室等を改装し、献血者がより快適に通ごせるよう整備された。

## 【静岡県】

都道府県名	行年(年月日)	行事の名称	開催場所	対象	備考
静岡県	H22年度	血液センター車両整備事業費補助金		静岡県赤十字血液センター	血液センターが保有する移動採血車の更新に係る経費に対し、5,000千円補助する。
血液センター	H22年度	スタッフジャンパーの作成	静岡服飾美容専門学校	静岡県浜松赤十字血液センター	献血活動で使用するスタッフ用ユニフォームを服飾美容専門学校の学生に、職員用スタッフジャンパーのデザインと制作を依頼した。

## 【大阪府】

都道府県名	行年(年月日)	行事の名称	開催場所	対象	備考
大阪府赤十字血液センター	H22.9.1~	まいどなんば献血ルーム開設	まいどなんば献血ルーム	若年層を中心とした府民	・大阪らしい名称で、親しみやすさをアピール ・地元の著名人を招いてのイベントも随時実施
大阪府	H22.11.1~	まいどなんば献血ルーム開設の周知	まいどなんば献血ルーム周辺の若者が集まる場所	若年層を中心とした府民	若者が集まる場所に設置されたフリーペーパーや電光掲示板に情報を掲載

## 【兵庫県】

都道府県名	行年(年月日)	行事の名称	開催場所	対象	備考
兵庫県赤十字血液センター	H22.6~	献血者接遇改善	尼崎出張所(塚口献血ルーム)	成分献血者	平成22年6月iPad3台整備し、成分献血者の使用希望者にインターネットで調べ物等に利用してもらい、時間を有効活用してもらおう。

## 【鳥取県】

都道府県名	行年(年月日)	行事の名称	開催場所	対象	備考
鳥取県赤十字血液センター	年中	写真の展示	血液センターの採血室	採血者の応募	市街地にあり、景観が悪いため、写真を展示し、明るい雰囲気確保することを目的とする。 献血者には好評である。

【岡山県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	備考
岡山県	H23.1	プラスマクラスターイオン発生器の設置	移動採血車、検診車	献血者	インフルエンザの流行時期にあたり、献血者の健康対策および移動採血のイメージアップを図る事を目的として全ての採血車(5台)、検診車(3台)に設置した。

【広島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	備考
広島県		献血バスのデザインの変更	移動献血車		けんけつちゃんを大きくプリントし、白を基調とした明るい
		低床タイプの献血バスの導入	移動献血車		イメージの献血バスに変更

【山口県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	備考
山口県	通年	循環バスによる広報	サンデンバスにラッピング	下関市民	下関市内の循環バスにラッピングし、広報

【徳島県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	備考
徳島県赤十字血液センター	H23.3月末(H23.4.1オープン)	「献血ルーム アミコ」の移転に伴う新装オープン	献血ルーム アミコ	一般	献血ルームアミコの移転に伴い、総面積が3倍と広くなり、ベッド数は6床から10床へ、またキッズスペースも設けた。採血するルームからは、市のシンボルである眉山が見渡せるようになり、非常に過ごしやすいルームとなった。

【香川県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	備考
香川県		献血カード入れの作成	県、各市町及び香川県赤十字血液センター	県民	献血ルームがH23.4.5に移転することに伴い、献血カード入れを作成。表面にけんけつちゃんと標語、裏面に新しい献血ルームの地図等を印刷し、地域献血時や成人式等で配布してもらい、新しいルームのPRを行う。
		献血推進啓発用リーフレットの作成	県、各市町及び香川県赤十字血液センター	県民	献血ルームの移転及び採血基準の見直しのため、献血推進啓発用のリーフレットをリニューアルした。なお、4月以降一部をコンビニに配布し、PR予定。

【愛媛県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	備考
愛媛県	常時		愛媛県大街道献血ルーム		献血ルームの休憩室外壁を各種サークル等の広報用に一部開放し、若年層への取り込みを図る。

【福岡県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	備考
福岡県	H22年度中	献血バスラッピング	福岡県内	保有献血バス	献血バスに献血のイメージキャラクター「けんけつちゃん」をラッピング
	H22年度中	検診車整備	福岡県内	保有車両	検診車の献血バスの内部を改良、受付・問診等が車内でできるよう環境の整備を図った。

【佐賀県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	備考
佐賀県	年度全般	献血事前検査用マイクロバスの活用の実施	各献血会場	一般献血者	夏・冬の献血条件の改善

【長崎県】

都道府県名	行事年月日	行事の名称	開催場所	対象	備考
長崎県	H22.7.10	一日所長行事	献血ルーム「はまのまち」及び浜の町アーケード	一般県民	2人の方に血液センター「一日所長」を委嘱し、啓発資材を配布しながら商店街でのパレードを実施し、献血協力の呼びかけ等を行った。

## 【大分県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	実施場所	実施者	備考
大分県赤十字血液センター	H22.9.1	献血ルーム「わったん」開所式	献血ルーム「わったん」	献血者	狭隘になった献血ルームを移設し、キッズルームを整備。 新規献血者が増加した。

## 【宮崎県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	実施場所	実施者	備考
宮崎県	通年	献血ルームイメージCM	テレビ	県民全般	天気予報の背景に献血ルームの画像を放映

## 【鹿児島県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	実施場所	実施者	備考
鹿児島県赤十字血液センター	H22.11.27～	ホリスティックプラザかごしまオープン	血液センター2階(旧製剤課・検査課フロア)	県民	全人的な健康づくりと献血等利他の地域づくりを目的としたホリスティックヘルスアカデミーの開催、健康・癒し・利他関係の各種セミナー等の開催、献血等ボランティア育成、キッズ献血体験学習、献血・輸血・全人的健康関係情報提供や技術研修会を開催している。
	H22.9	献血バス内装の改装	献血バス 博愛3号車		献血バス内のカーテン及び床の色を明るい色調の物に交換し、献血バス内のイメージを明るくした。

## ⑦若年層献血者数の増加

## 【岩手県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	実施場所	実施者	備考
岩手県	H22.12	テレビスポットCM放送	県内一円	県民	県内民放4社で県が制作した献血啓発スポットCMを制作し献血思想の普及啓発実施 放送回数 120回
	H22.4	高等学校訪問	各高等学校	高校生	県内金高等学校を訪問し、献血への理解と協力要請

## 【青森県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	実施場所	実施者	備考
青森県	H22.9.5～H22.9.18	ファッション甲子園写真展開催	献血ルーム	高校生	各献血ルームで写真展の開催及びパンフレットに広告を掲載し、献血ルームの場所の周知や若年層の献血者を募った。 期間中10～20代、260名協力(23.3%)
	H23.2.1～H23.3.31	若年層普及啓発DVD作成	献血ルーム	中学・高校生の若年層	若年層に人気のある美少女図鑑のモデルを起用してDVDを作成し、献血ルームの周知や献血への理解を深めてもらった。 300枚作成

## 【宮城県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	実施場所	実施者	備考
宮城県赤十字血液センター	H22.4.2～現在まで36会場で実施	学生グループ献血	各大学、専門学校献血会場	学生	各大学、専門学校等での献血実施の際に「4名1組で献血申込みをしたグループ」に対して記念品を贈呈し、新規献血者でも気軽に協力できるよう友人同士誘い合って献血できる環境の一環として実施 移動採血における、大学、専門学校等の学生献血が、前年実績より119%(417人)増加した
	H22.7.24～8.3(計7日間開催)	けんけつKID'Sサマースクール	血液センター3階会議室	小学4～6年及びその保護者	若年層の献血啓発、普及を目的として実施 7日間開催し合計で500名参加
	H22.4.6～現在まで7回開催	献血出前講座およびセミナー	仙台高等技術専門学校等	主に、大学、専門学校生、企業の新入社員	主に20代対象に献血の重要性を学ぶ機会の場合として実施 7回開催合計で約1,000名参加

【秋田県】

都道府県名	実行年月日	実行の名称	開催場所	対象	内容	備考
秋田県	H22.10～H23.3	献血推進ポスターの掲示	県内高等学校	学生	高校生の献血推進ポスターを掲示した。	
秋田県(赤十字血液センター)	H22.12.13～H22.12.25	クリスマス献血キャンペーン	血液センター、献血ルーム	主に10歳～20歳代	若年者の既献血者を中心にダイレクトメールを送付し、献血への協力を依頼した。	前年度の同期間より対象献血者が39.8%増
	H23.2.5～H23.2.14	バレンタイン献血キャンペーン	血液センター、献血ルーム	主に10歳～20歳代	若年者の既献血者を中心にダイレクトメールを送付し、献血への協力を依頼した。	前年度の同期間より対象献血者が14.6%増

【山形県】

都道府県名	実行年月日	実行の名称	開催場所	対象	内容	備考
山形県	H22.11.1～H23.1.14(募集)	第47回献血運動推進全国大会「標語」「ポスター」コンクール		中学生・高校生	第47回献血運動推進全国大会に向け、県民の開催機運を高める為、実行委員会において実施。	標語368点、ポスター68点の応募
	H22.11.14	モンテディオ山形ホームゲームにおける献血普及啓発	NDソフトスタジアム山形	サポーター	入場時間より啓発資料を配布し、献血車を配車、献血を実施した。	33名の献血者(うち3名が新規)

【福島県】

都道府県名	実行年月日	実行の名称	開催場所	対象	内容	備考
福島県	H22.7～H22.9	ジュニア献血ポスターコンクールの開催	県内全中学校	県内全中学生	県教育委員会の協力の下に、中学生を対象とした献血基礎知識の啓発を兼ねたコンクール。優秀作品を用いてポスターを中学校に配布し献血思想の普及啓発を図る。	応募状況:79校、514作品
	H22.12	ヤング献血定着促進事業	街頭献血会場		大学生等ボランティアによるクリスマスキャンペーンの支援。	ボランティア用手袋の配布

【茨城県】

都道府県名	実行年月日	実行の名称	開催場所	対象	内容	備考
茨城県	H22.8.22、H23.2.13	学生主催のキャンペーン	ショッピングセンター	買物客(親子連れ)	献血に関するクイズやゲームを実施し献血に理解を求めた。	サマー献血及びバレンタイン献血を実施 献血者 110名
	H23.3.20	地元J2サッカークラブとのキャンペーン	水戸献血ルーム	小学生	サッカー教室及びサイン会等を実施	東日本大震災により中止
	H22.11～H23.3	高校献血キャンペーン	献血実施高校及び各献血ルーム	高校生	ポスターコンクール及びアンケート、献血者に記念品を配布	
	H22.1.1～H23.2.28	はたちの献血キャンペーン	各献血ルーム	20歳	成人式や大学等でチラシ配布し、献血ルームでの20歳の献血者及び同行者に記念品を配布した。	

【栃木県】

都道府県名	実行年月日	実行の名称	開催場所	対象	内容	備考
栃木県	H23.1～H23.2	「はたちの献血」キャンペーン	・成人式 各市町の会場 ・シネアド TOHOシネマズ宇都宮及び109シネマズ佐野	新成人を中心に幅広い年代	各市町で開催する成人式でのリーフレット配布やラジオ・テレビによるスポットCM放送のほか、県内2か所の映画館でシネアートの放映を行うことにより、若年層を中心とした幅広い世代に献血への理解と協力を呼びかけ、献血者の確保を図った。	・新成人へのリーフレット配布数 23,075枚 ・シネアド放映回数 延べ約900回

【群馬県】

都道府県名	実行年月日	実行の名称	開催場所	対象	内容	備考
群馬県	H22.6.1～H22.8.31	群馬県愛の血液助け合い運動 シネアド上映	シネマコンプレックス	商業映画を視聴する高校生、大学生を中心とした若年層	多くの若年層が利用するシネマコンプレックスにおいて、献血思想の普及を目的として、映画本編上映前の広告(シネアド)で献血協力をテーマとしたCM映像を放映した。	
	H23.1.1～H23.3.31	群馬県はたちの献血キャンペーン シネアド上映	シネマコンプレックス	商業映画を視聴する高校生、大学生を中心とした若年層	多くの若年層が利用するシネマコンプレックスにおいて、献血思想の普及を目的として、映画本編上映前の広告(シネアド)で献血協力をテーマとしたCM映像を放映した。	
	H23.1.15	「はたちの献血」街頭キャンペーン	県内大型ショッピングモール	若年層を中心とする幅広い年齢層	学生ボランティアによる献血啓発活動や、三洋電機のラグビーチーム「三洋電機フィールドナイフ」の選手によるトークショー及びサイン会等、若年層を対象に献血啓発活動を実施した。	
	H23.2	献血デビュー支援事業			移動採血車を配車する県内の高等学校の1年生	献血可能年齢となる高校1年生(16歳)を対象として、初めての献血チャレンジを応援するという意味合いを含めて、献血キャラクター「けんけつちゃん」をモチーフにした啓発資料を配布した。

## 【埼玉県】

都道府県名	実施年月日	実施内容	実施場所	実施対象	実施概要	備考
埼玉県	H22.4.1～H22.9.30	新高校1年生入学おめでとう「献血ルーム見学会」	県内7か所献血ルーム	県内高校1年生	新高校1年生に県内献血ルームを見学してもらい、献血を身近なものと感じてもらった。	見学会参加者174人
	H22.7.1～H22.8.31(第1期) H23.2.1～H23.3.31(第2期)	献血ゆる玉応援団による「献血ありがとう」キャンペーン	県内8か所献血ルーム	若年層(10代20代)	献血協力者へのゆる玉応援団関連グッズ(携帯ストラップ、クリアファイル、ハンドタオル)をプレゼントした。	第1期キャンペーン参加者11,429人
	H22.8.10	愛の血液助け合いの集い	埼玉会館	受賞者他	献血功労団体の表彰などの諸行事を行い献血の普及啓発及び献血への理解と協力を図った。	
	H22.4.5～H22.4.23(受付期間) H22.8.10(表彰式)	献血推進ポスターコンクール	県内	県内中学生	献血推進用ポスターの原案を募集し、最優秀作品を「愛の血液助け合い運動」ポスターにし、関係機関に配布した。	応募総数 378人
	H22.12.1～H22.12.25(実施期間) H22.12.23(イベント)	クリスマス献血キャンペーン	県内8か所献血ルーム 本川越駅前	若年層を中心に幅広い年代	H22.12.23本川越駅前にて埼玉西武ライオンズ選手によるトークショー、写真撮影会を行い広く献血を呼び掛けた。	受付者 21,964人 献血者 17,974人
	H23.1.1～H23.2.28	はたちの献血キャンペーン	県内8か所献血ルーム	新成人を中心に幅広い年代	新成人に対し成人式会場で個別に献血を呼び掛けるパンフレットを配布した。	
	H23.2.1～H23.4.30	卒業献血キャンペーン	県内8か所献血ルーム	高校卒業予定者	県内高等学校に対してリーフレットの配布及びポスター掲示を依頼し、卒業記念の献血推進を依頼した。	

## 【千葉県】

都道府県名	実施年月日	実施内容	実施場所	実施対象	実施概要	備考
千葉県	H23.1.22	はたちの献血キャンペーンイベント	千葉市内百貨店 他	千葉県民	千葉ロッテマリーンズ協力により、同球団選手・マスコットと献血啓発及び呼び掛けを行った。	ロッテマスコット連との献血啓発活動(ティッシュなど配布・献血呼び掛け)の他、イベントでは同球団投手による献血呼び掛けを行う等
	H22.12～	「八月の二重奏」DVD 高等学校配布事業	-	県内全高等学校	行政を通じて各高等学校へ配布し、授業などで活用して、献血啓発を図っていただけるよう促す。	千葉県義務課を通じて県内全高等学校へは配布済。
	H22.7.3	愛の血液助け合いキャンペーンイベント	千葉市内百貨店 他	千葉県民	千葉県警察署の協力を得て同キャンペーン周知のためのイベントを開催、若年層対策として、イベントキャラクターに千葉ポートクイーンを起用し献血啓発物の配布や献血を呼び掛けた。	地元TVや新聞などで、イベントの様子が報じられ、キャンペーン周知の効果はあった。
	H22.11～	ラジオ番組提供による広報	-	千葉県民	若年層からの支持が高いベイエムの番組を11月から半年間番組提供し、番組中の生CMを活用して、県内の血液情報や献血の呼び掛けを行う。	番組を聞いたと買って、献血にご協力いただく方が、多数いらっしゃいます。
	H22.8.1	学生サマーキャンペーン	ららぽーと東京ベイ	地域住民	千葉県学生献血推進協議会が主催となつての献血活動で若年層を中心に呼びかけ活動をした。	協力者数は89名であった。
	H22.12.12	学生クリスマスキャンペーン	ららぽーと東京ベイ	地域住民	"	協力者数は66名であった。
	H22.12.19	学生クリスマスキャンペーン	ららぽーと東京ベイ	地域住民	"	協力者数は58名であった。
	H23.1.22	はたちの献血キャンペーン	千葉そごう JR千葉駅前	地域住民	"	協力者数は58名であった。

【東京都】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
東京都	H22.4～H22.6、 H22.10～H22.12	グループ献血	各大学の献血会場	大学生・短大ほか	若年層への献血啓発として、400mlグループ献血3人1組を献血会場当たり5組として推進し、献血者の増強及び複数回献血に繋げる。	
	H22.7.1～H22.8.31 H23.1.1～H23.3.31	夏季・冬季のキャンペーン時にポスターを作成し送付(B3サイズ)	大学、高校、専門学校など	大学生、高校生、専門学校生ほか	年2回のキャンペーン時に、都独自のポスターを作成し配布(約1,200校)	
	H22.10.1～H22.12.31配布 H23.1.2～H23.4.30引き換え	はたちの献血キャンペーンの一環 次回献血の記念品引換券を配布	大学、高校、専門学校の献血会場	学生及び学校関係者	引換券を待参し、1月～4月にルームで献血した場合、日赤の記念品のほかに、行政(都)からの記念品も配布	
	H23.1.10配布 H23.1.2～H23.4.30引き換え	はたちの献血キャンペーンの一環 カードケースと記念品引換券を配布	各区市町村の成人の日、式典会場	新成人	引換券を待参し、1月～4月にルームで献血した場合、日赤の記念品のほかに、行政(都)からの記念品も配布	
	H23.2.1～H23.2.7	街頭ビジョン	新宿アルタ、渋谷109、秋葉原UDXなど6か所7ビジョン	学生ほか	献血ルームがあり、若者が多く集まる新宿、渋谷、秋葉原などで、日赤のキャンペーンCMを加工し繰り返し放送	

【神奈川県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考
神奈川県赤十字血液センター	H22.10.2	第7回ボラフェスタinKANAGAWA2010	日本丸メモリアルパーク	県民(およびボラフェスタ参加大学等学生)	県内のボランティア団体が一堂に集まり、ボランティアの輪を広げ、県民に意識の普及を図ることを目的とする。また、ボランティア活動としての献血をPRすることにより、幅広い年齢層(特に若年層)に献血推進への協力的な意識を築くことを目指す。(FMヨコハマ特別番組の生放送と連動して、広く県民にボランティア精神や献血思想を普及する。)	来場者数5,000人

【新潟県】

都道府県名	実施年月日	実施の名称	開催場所	対象	概要	備考	
新潟県	H23.1.22(録音) H23.1.30(放送)	2011はたちの献血キャンペーン(ラジオ公開録音)	リバーサイド千秋	若年層	人気モデルをゲストに迎えた献血PRイベントを行なうことにより、主に若年層への献血思想の普及を図るとともに献血者が減少しがちな冬期における献血者確保を目的とし、イベントを実施した。	イベントには300名以上の観客があり、そのほとんどが若年層だった。また、当日会場に献血バスも配車したが、会場隣の献血ルームと合わせて138名の受付があった。	
	H22.12	はたちの献血キャンペーンの広報(CMの放送依頼)に係るマスコミ訪問		県内テレビ局(計4局)	県、血液センターで県内のマスコミ各社を訪問し、献血への理解と協力、CM放送依頼を行った。		
	通年	学校訪問		県内高等学校、中等教育学校	県、市町村、血液センターで県内の高等学校等を訪問し、献血への理解と協力を依頼した。		
	H22.5.8～5.9 H22.10.9～H22.10.10	古町どんとんでのPR	古町		若年層を中心に幅広い年代	学生献血PRボランティアが街頭キャンペーンを実施し、献血への協力を呼びかけ、普及啓発を図った。	延べ57名のボランティアに参加していただき、献血ルームにも多くの献血者から協力いただいた。
	H22.10.23	クリスマス献血キャンペーン				高校生と大学生合わせて約250名のボランティアに参加していただいた。また、当日会場に献血バスを配車し、会場と隣接する献血ルームと合わせて144名の受付があった。	
	H22.8.4、H22.8.25	街頭献血PR活動	イオン新潟南	高校生	高校生を対象にボランティアを募集し、街頭献血会場でのPR活動を実施し、献血への協力を呼びかけ、普及啓発を図った。		

## 【富山県】

都道府県名	実施年月日	実施内容	開催場所	対象者	実施内容	備考
富山県	H22.6	ポスターの作成・配布	献血協力企業など	一般県民	若者等に人気のある地元プロ野球リーグ及びプロサッカー選手を起用したポスター等を作成し、献血の意識啓発に努めた。	報道機関でも取り上げていただきポスター希望者も多く反響は大きかった。
	H22.7～H22.8 H23.1～H23.2	ショッピングセンターでの懸垂幕掲示	富山駅前のショッピングセンター	一般県民	富山駅前の商業施設を活用し、献血啓発用の懸垂幕を掲示し、献血思想の普及を行った。	
	H22.7	献血啓発用「ジャンボ黒板消し」の配布	県内全高校	県内高校3年生	若年層への献血意識を高めるため県内の高校、高専の3年生全クラスに配布した。	60校、272クラスへ配布。
	H22.8.1	サマー献血キャンペーン	ショッピングセンター	一般県民	夏場の血液不足解消のため、学生ボランティア主催によるキャンペーンを実施した。	献血者166名 400mL献血率95.4%
	H22.7～H22.9、H22.12 H23.1～H23.2	献血啓発CMの上映	TV、シネマコンプレックスで映画の本編前にCMを上映するもの	一般県民	献血推進CMを作成し、TVや映画館で上映することにより献血の普及啓発を行った。	県内2箇所を実施。
	H22.12.5	全国学生クリスマス献血キャンペーン	ショッピングセンター	一般県民	年末年始の血液確保のため、学生ボランティア主催によるキャンペーンを実施した。	献血者180名 400mL献血率100.0%
	H23.1.2～H23.1.31	駅コンコース踏込広告設置	JR富山駅コンコース	一般県民	はたちの献血キャンペーン期間中に、駅のコンコースへ広告を設置し献血意識の高揚を図った。	
	H23.1.7	はたちの献血キャンペーン	県内各地ショッピングセンター、駅など	一般県民	冬期における血液不足の解消のため、街頭キャンペーンを実施し、広く県民に理解と協力を求めた。	
	H23.1.10	「はたちの献血キャンペーン」イベント	ショッピングセンター	一般県民	ラジオ公開放送による献血啓発活動及びLOVEメール会員募集イベントを実施した。	献血者94名 400mL献血率100.0%
	H22.7～H22.9(募集期間) H22.10.23(表彰式)	献血推進用ポスター募集・表彰	県内小・中学生を対象に献血推進ポスターを募集し、優秀作品を表彰を行った 表彰式：富山電気ビル	県内小・中学生	県内小・中学生を対象に献血推進ポスターを募集し、優秀作品を表彰を行った。	応募点数：468点 (小学生58点、中学生410点)
H23.2.2～H23.2.9 H23.2.11～H23.2.17	献血ポスター優秀作品の展示	県内ショッピングセンター	一般県民	小中学生献血推進ポスターコンクールの優秀作品展示を行い、献血思想の普及を図った。	県内2箇所を実施。	

## 【石川県】

都道府県名	実施年月日	実施内容	開催場所	対象者	実施内容	備考
石川県	H22.7.1～H22.10.31(募集) H22.12.21(表彰式) H22.12.8～H23.1.13(展示会)	献血ポスターコンクール入賞者表彰式	県庁特別会議室	県内中学校	県内中学校を対象に、献血に関するポスターの公募を行い、献血できる可能年齢に達した際にも、献血に対する抵抗が少なくなることを期待する。	27校222名の応募があった。
	H23.1	新成人対象献血啓発	各市町成人式会場	新成人	成人式出席者に啓発資料を配布する。	
石川県赤十字血液センター	H22.11.4	石川県学生献血推進連絡会	石川県赤十字血液センター	大学生等及び教職員	県内の大学、短大、高専の学生及びその教職員が献血推進及び学生ボランティアの活動をサポートする。	県内18の大学、短大、専門学校が参加した。
	H22.7.4	学生七夕献血キャンペーン2010	献血ルームラプロ	大学生	浴衣やけん付けちゃん着ぐるみを着た学生ボランティアが街頭で献血を呼びかける。	当日は144名の受付、116名の献血協力があった。
	H22.8.22	中部統一サマー献血キャンペーン2010	ショッピングセンター、献血ルームラプロ	大学生	中部ブロックで統一スローガンを掲げ、1稼働当たり受付人数80人を目標に、献血会場周辺で献血を呼びかける。	当日は215名の受付、177名の献血協力があった。
	H22.12.12	全国学生クリスマス献血キャンペーン2010	ショッピングセンター、献血ルームラプロ	大学生、短大生	全国統一スローガンを掲げ、サンタやトナカイの格好をした学生ボランティアが、献血会場周辺で献血を呼びかける。	当日は241名の受付、187名の献血協力があった。

【福井県】

都道府県名	実施年月日	行いの名称	開催場所	対象	内容	備考
福井県赤十字血液センター	H22.9～H22.10	2010学園祭献血	各大学、短期大学	大学生、短期大学生	各大学において献血を実施し、若年層の献血者を確保した。	
	H22.11.22	福井県学生献血推進連盟20周年記念事業	ラブリートパートナー エルバ	県民、学生	学生が事業の計画を立案することで、学生ボランティアのモチベーションが上がった。	
	H23.1.15	Heart Wave Action 2011	響きのホール	県民、学生	学生献血推進連盟の普及啓発、「八月の二重奏」の放映を行うとともに、菅原典保氏の講演を実施し、若年層を中心に県民へ献血の普及啓発を行った。	

【山梨県】

都道府県名	実施年月日	行いの名称	開催場所	対象	内容	備考
山梨県	H22.7～	高校献血の実施	42高等学校	高校生	県内全校で高校献血を実施した。	2,500名以上に協力を頂いた。
	H23.1	はたちの献血キャンペーン	28市町村	二十歳	県内の成人に対して啓発資料を配布した。	新成人票9,000人
	H22.3	中学校へのパンフレット配布	97中学校	中学生	県内全中学校の卒業式でパンフレットを配付した。	中学3年生約9,000人
	H22.4～	大学献血の実施	7大学	大学生	県内7大学で年間数回献血を実施した。	1,500名以上に協力を頂いた。

【長野県】

都道府県名	実施年月日	行いの名称	開催場所	対象	内容	備考
長野県	H22.6	高校生へのリーフレット配布		高校生	県作成リーフレットを全高校生に配布	66,200部作成
	H22.4～H22.8	献血推進ポスター図案募集		中・高校生	募集した図案の中から献血推進ポスターとポケットティッシュを作成。ポスターは県内電車・バスの車内に広告。ティッシュは啓発活動で活用。	ポスター2,000枚 ティッシュ80,000個

【岐阜県】

都道府県名	実施年月日	行いの名称	開催場所	対象	内容	備考
岐阜県	H22.6.23～H22.9.8	献血推進ポスター募集	表彰は「献血感謝の集い」で実施	中学生	けんけつ中学生から献血を推進するためのポスターを募集し、大賞作品のポスターを製作した。大賞1点、入選2点、佳作5点	39名の応募

【静岡県】

都道府県名	実施年月日	行いの名称	開催場所	対象	内容	備考
静岡県	H22.5～H23.3	アボちゃんサポーター事業 成分献血啓発事業	高等学校、各地域	県内の高校生 県民	県保健所の所管地域にある高校の生徒98名に献血ボランティア「アボちゃんサポーター」を委嘱し、学内献血や学校祭、地域の健康まつり等において献血広報活動を行うとともに、活動記録「ABOニュース」を制作した。地域の健康まつり等では献血推進コーナーを設置し、子供連れの家族などに献血クイズを実施するなど、献血意識の啓発を行った。	地域イベントを12カ所で開催。

【愛知県】

都道府県名	実施年月日	行いの名称	開催場所	対象	内容	備考
愛知県	H22.12.19	学生クリスマス献血キャンペーン	名古屋市栄広場	一般県民	愛知県学生献血連盟が主体の献血イベント。栄広場を献血会場とし、ステージパフォーマンス等で若者に献血協力を呼びかけた。	参加者 学生ボランティア 約240名 献血者 123名(200mL31名、400mL92名)
	H23.1.1～H23.2.28	はたちの献血キャンペーン	県内全域	高校1年生、新成人	パンフレットを作成し、県内の高等学校に通う高校1年生と成人式等で配布した。	パンフレット配布数 ・高校1年生 68,316部 ・新成人 40,700部